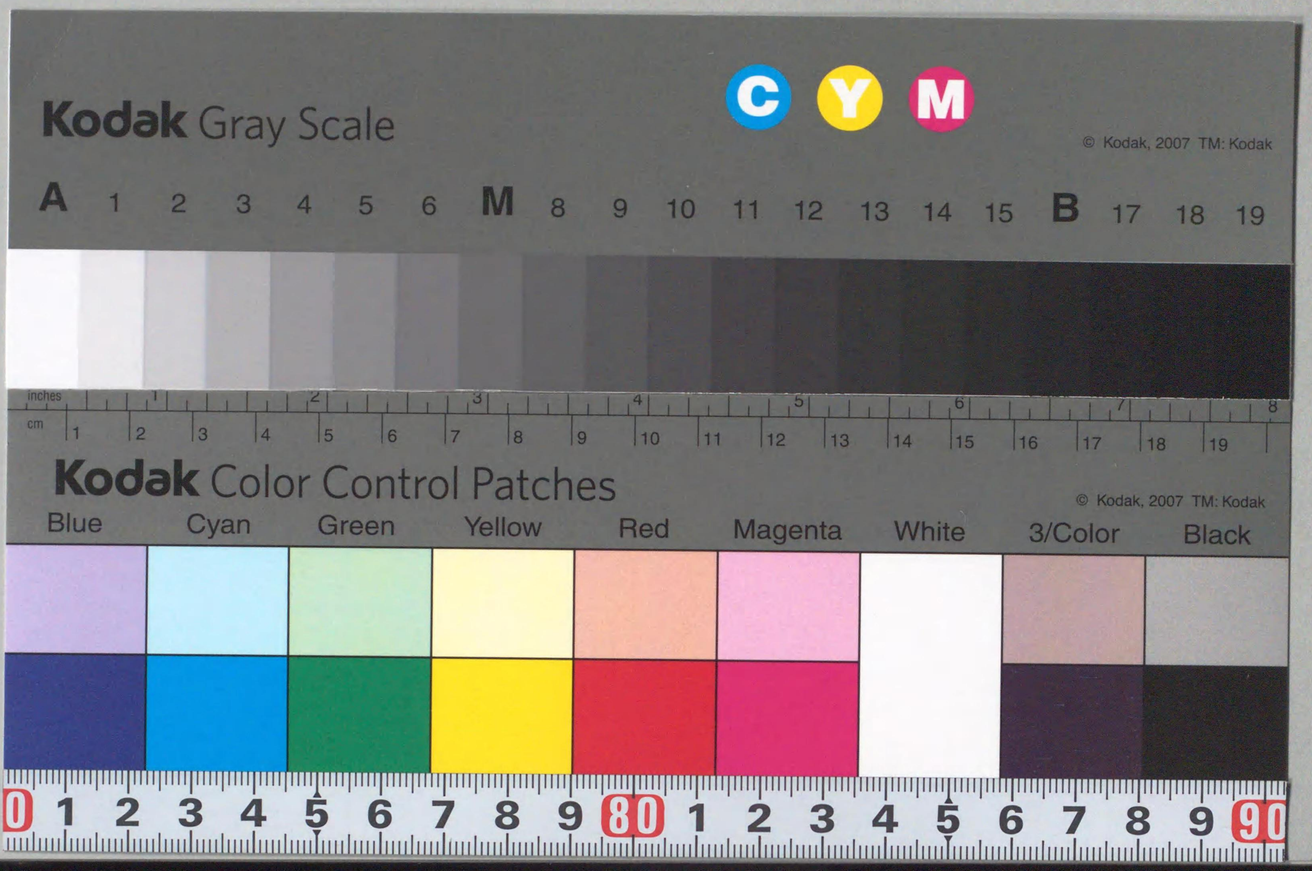


Y994
J7416

昭和七年三月

耕地擴張改良奬勵施設要項

農林省農務局

耕地擴張改良奬勵施設要項

目次

參考寫眞

第一圖　溜池豫定地ノ地質調査

第二圖　溜池

第三圖　地下水利用

第四圖　揚水機

第五圖　用水改良事業

第六圖　機械力ニ依ル暗渠排水孔伏設作業

第七圖　耕地ノ改良ト水害地復舊

第八圖　埋立及干拓工事

第九圖　開墾地

第十圖　開墾地ノ作付

第十一圖　開墾地移住家屋

第十二圖　開墾地共同建造物

第十三圖　膠灰噴射機及鑿岩機

帝國圖書館藏書

帝國圖書館藏書

Y994
J7416

國立國會圖書館藏書

I種
W

1200801015838

第一編　耕地擴張改良奬勵事項……一

第一　事務……一

一　中央事務……一

二　地方事務……一

第二　耕地整理法……三

第三　技術員及事務員養成……四

第四　耕地整理及土地改良奬勵費規則……八

第五　事業資金……九

一　關係銀行法ノ要旨……九

二　低利資金……一九

三　遞信省簡易生命保險積立金……一九

四　普通資金……二一

五　耕地整理組合ノ債券發行……二二

六　失業救濟農山漁村臨時對策低利資金……二三

第六　農用機械ノ利用奬勵……二三

一　開墾地用機械ノ貸與……二五

二　農用機械管理所……二六

三　開墾地用機械購入費補助……二六

四　機械使用法ノ講習……二六

第七　揚水機、地質、地下水等ノ特種技術指導……二七

第八　耕地擴張改良ニ關スル諸般ノ研究調査……二七

第九　土地利用計畫……二八

第十　開墾助成法……二八

第十一　開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營……二九

第十二　大規模開墾計畫……三〇

第十三　開墾地移住奬勵……三〇

一　開墾地移住奬勵金交付……三〇

二　開墾地移住紹介……三一

三　開墾地移住者ニ對スル汽車電車汽船ノ特別取扱……三三

第十四　開墾地利用ニ關スル試驗及奬勵……三三

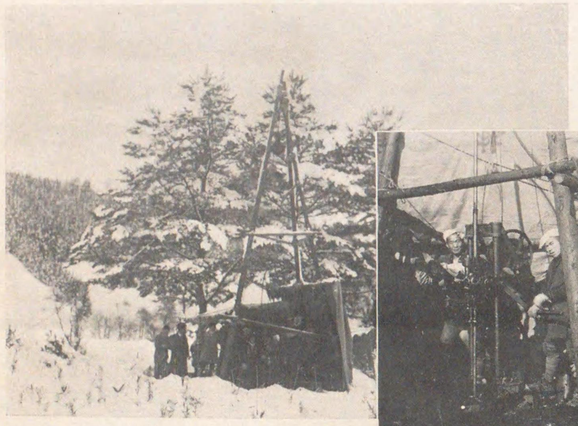
第十五　開墾ニ關スル其ノ他ノ奬勵……三四

第十六　農業水利改良計畫……三五

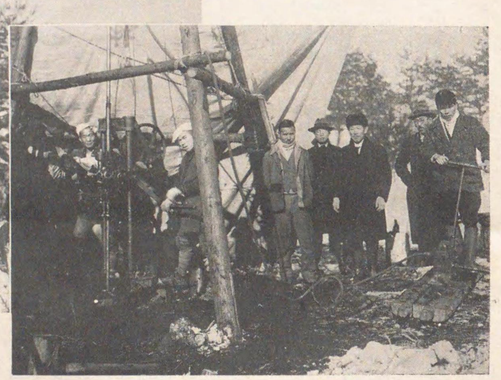
第十七　用排水幹線改良事業……三五

第一圖

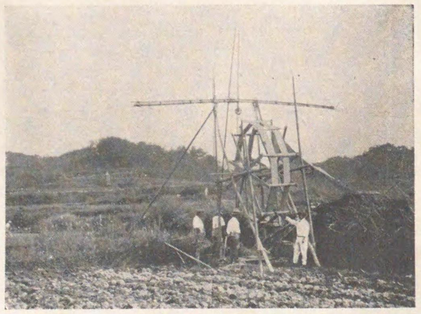
溜池豫定地ノ地質調査



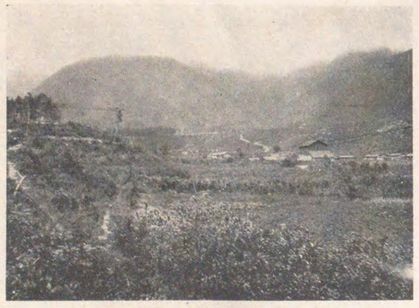
秋田縣仙北郡畑屋村ニ於テ穿孔機ニ依ル溜池堤敷豫定地ノ試錐



同左



大阪府泉北郡南池田村光明池主堤豫定地ノ試錐



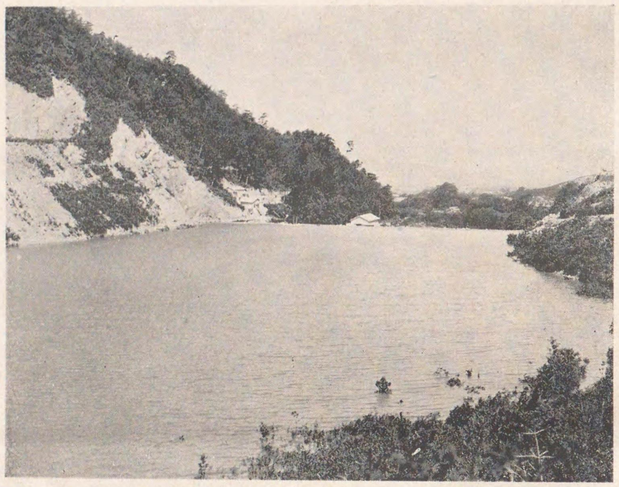
長野縣南安曇郡小倉村築堤豫定地ヨリ池敷ヲ望ム

德島縣板野郡御所村猪ノ鼻貯水池敷地ヲ望ム

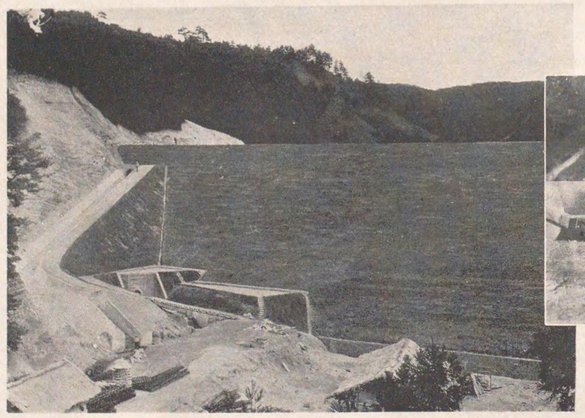
大分縣大野郡小富士村富士緒井路耕地整理組合白水溜池築堤豫定地ヲ望ム

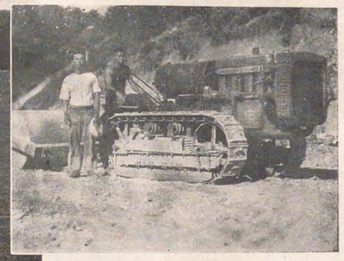
第二圖

溜池

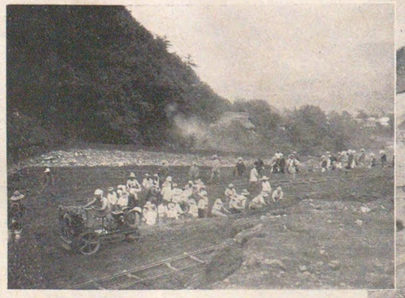


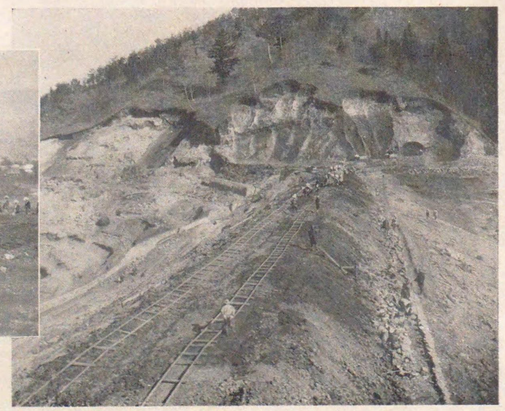
兵庫縣三原郡神代市榎列三箇村耕地整理組合ノ溜池





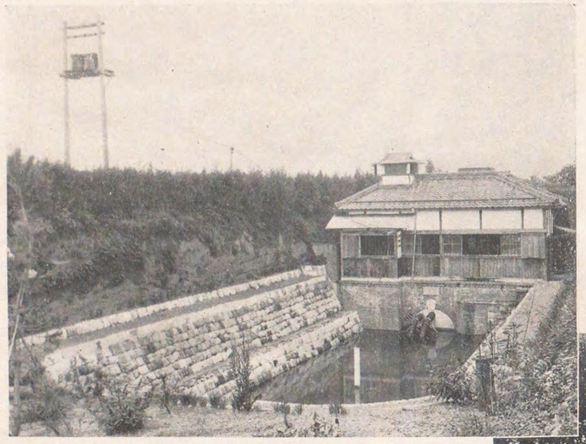
（左）秋田縣平鹿郡醍醐村馬鞍澤溜池土堰堤
（右）同溜池堰堤作業ニ使用セル牽曳機ト「ローラー」





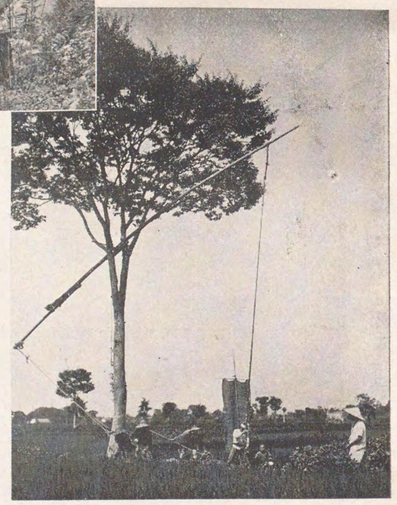
（右）山梨縣北都留郡大原村小篠耕地整理組合溜池堤塘工事
（左）同工事ニ於ケルME式土締機ニ依ル堤塘搗固作業

第三圖
地下水利用



（上）滋賀縣犬上郡豐鄉村耕地整理組合ニ於ケル地下水ノ揚水場

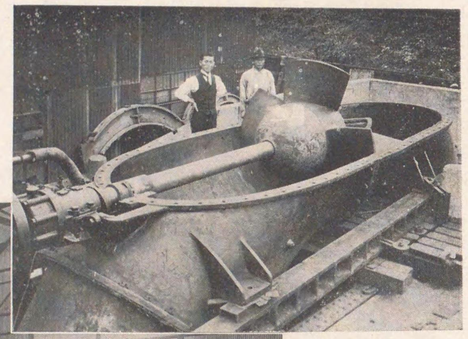
（下）同組合ノ工事施行前ニ於ケル野井戸ヨリノ灌漑

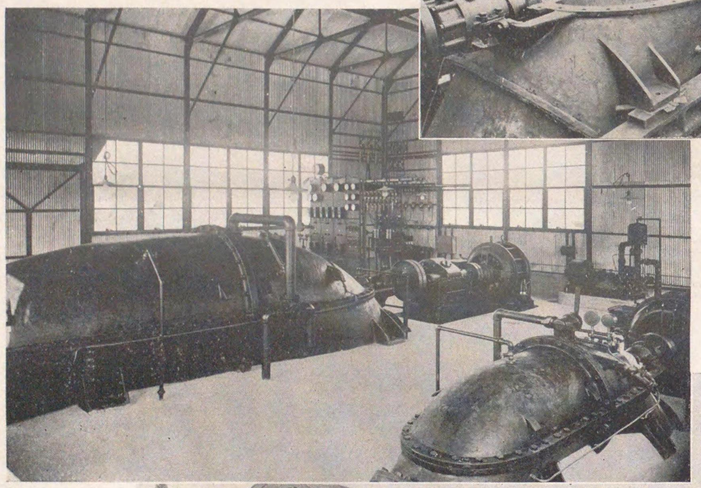


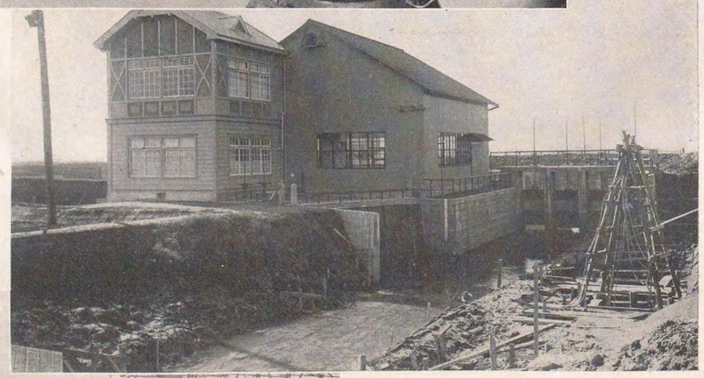
（上）長野縣東筑摩郡今井村ニ於ケル地下水利用試掘坑

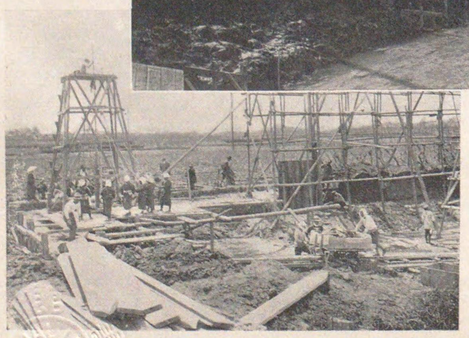
（下）佐賀縣神崎郡東脊振村地下水利用水源踏定地

第四圖
揚水機







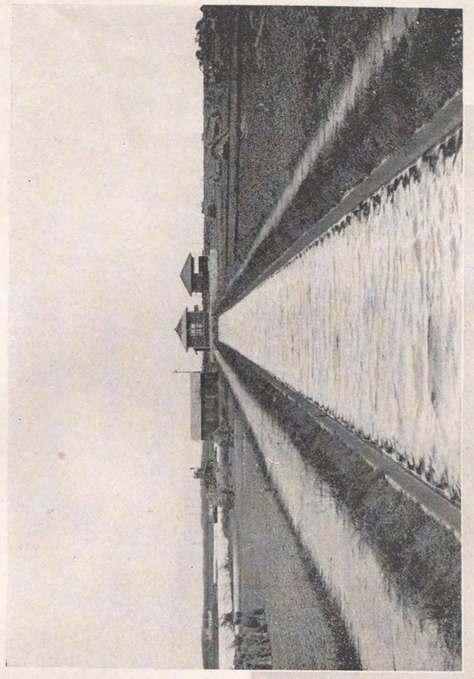


（左）岐阜縣羽島郡濃北排水改良事業ニ於ケル日立六十吋軸流ポンプ
（右）同ポンプ内部

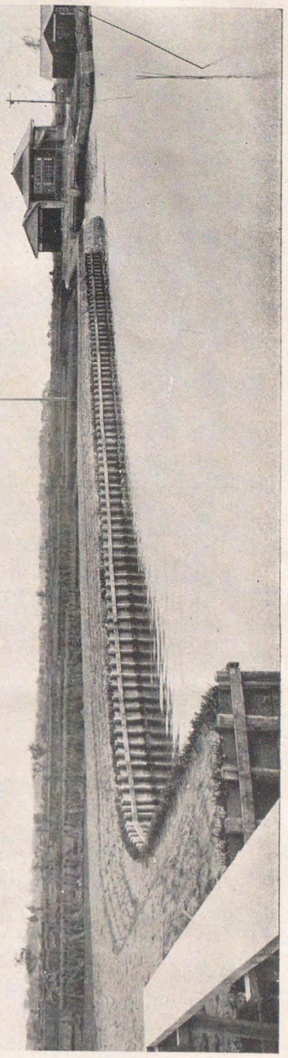
（左）同上揚水場
（右）同上工事中

第五圖　改良水用事業

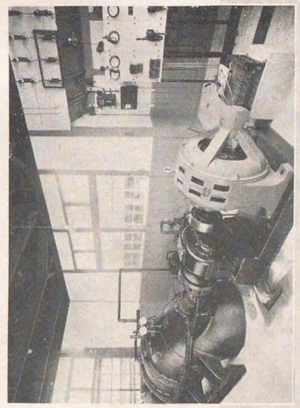
滋賀縣營蓋子川治岸用水改良事業ニ於ケル揚水機場ヨリノ放水路



同上吸水路

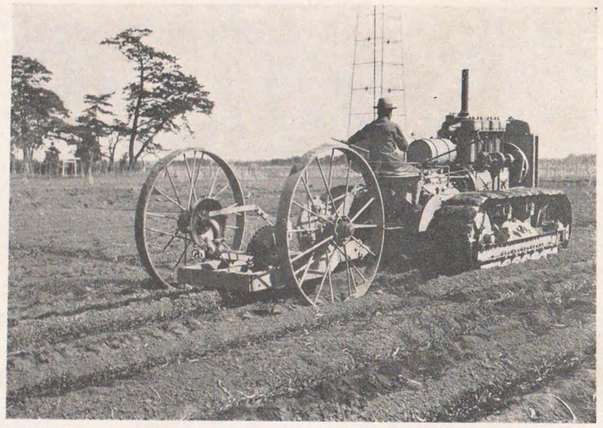


揚水機（荏原四十吋軸流ポンプ一臺）

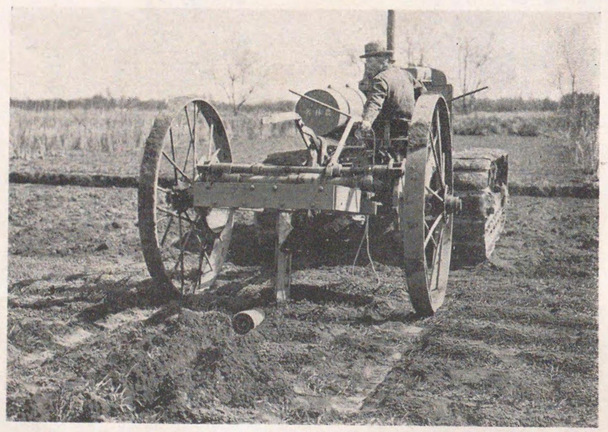


第六圖

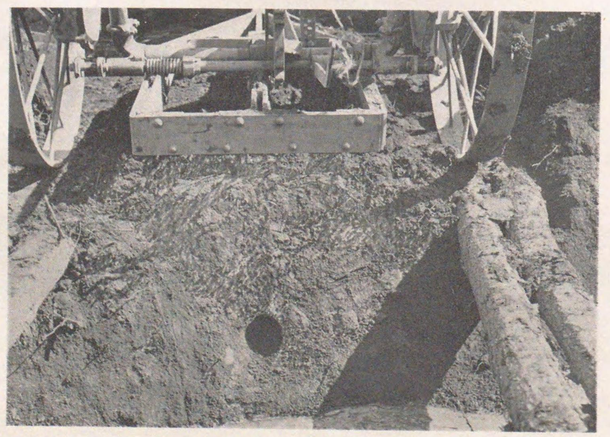
機械力ニ依ル暗渠排水孔伏設作業



ベスト型六〇馬力牽曳機ニ「モール」ヲ附シタル深耕犁ヲ牽曳セシメ排水孔道伏設作業ノ狀況
（昭和六年三月）



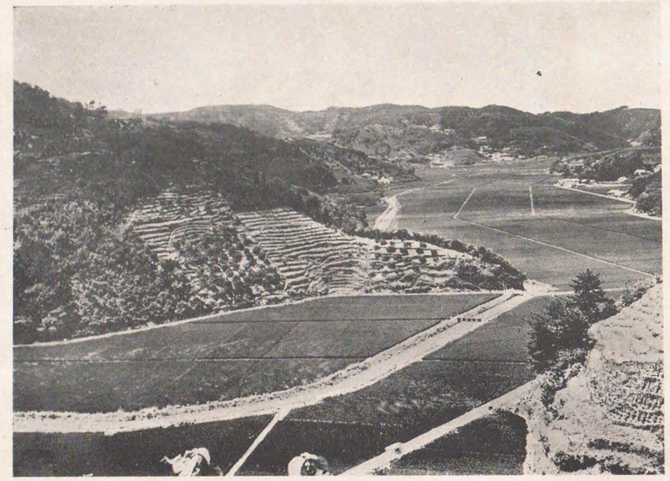
「モール」ヲ附セル深耕犁



排水幹線ニ現ハレタル孔道ノ一端

第七圖

耕地ノ改良ト水害地復舊



愛媛縣北宇和郡喜佐方村耕地整理組合ノ濕田改良及區劃整理施行ノ狀況

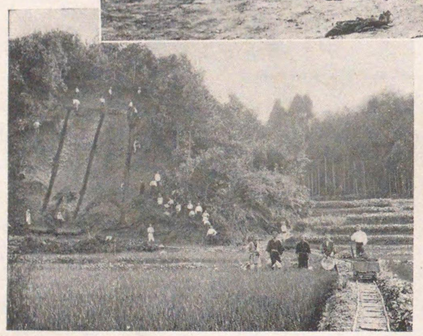
長崎縣南高來郡愛野村ノ潮害ニ由ル浸水狀況

同上復舊後ノ狀況

第八圖

干拓及埋立工事

（上）福井縣坂井郡細呂木村耕地整理ノ北潟湖面埋立工事



（下）同工事土砂採取ニ青年會員數十名出役ノ狀況

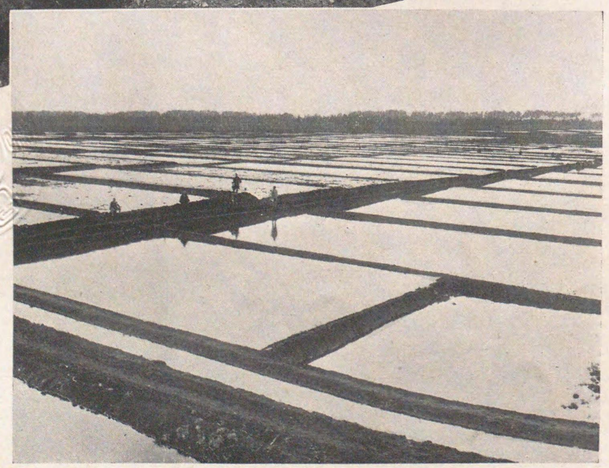
（下）愛媛縣新居郡西條町船屋耕地整理組合ノ干拓地

（上）同組合ノ干拓築堤潮留作業

第九圖
開墾地

青森縣東津輕郡平內村一本松耕地整理組合第四區西端ヨリ開墾前地區ノ一部ヲ望ム

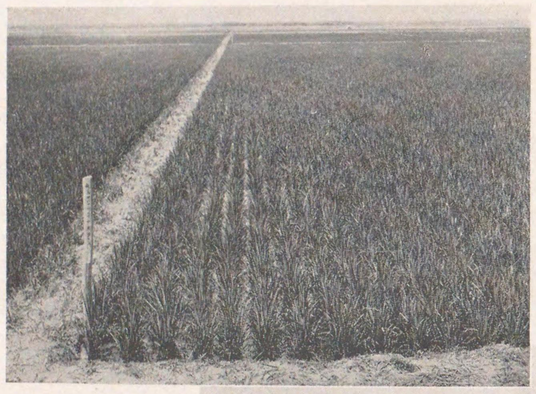
同上組合第三區ノ開田工事



同上組合築堤ノ上ヨリ第一區第二區ヲ望ム

第十圖

付作ノ地墾開



宮城縣登米郡米山村短冀耕地整理組合開田地ニ於ケル稻作

同上

奈良縣宇陀郡政始村小和田耕地整理組合開畑地ニ於ケル甘藷、里芋等ノ栽培

第十一圖

開墾地移住家屋

三重縣鈴鹿郡國府村石丸開墾耕地整理組合

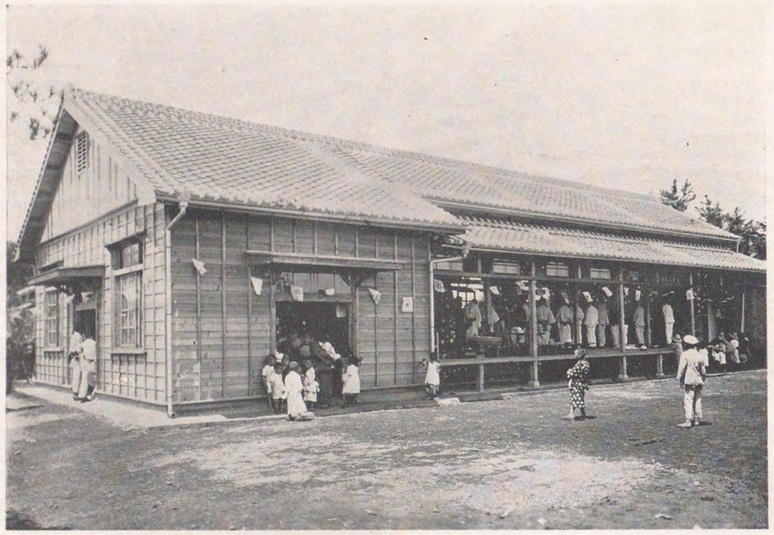
富山縣上新川郡大澤野村
大澤野耕地整理組合

長野縣南安曇郡小倉村外六ヶ村開墾組合

福島縣南會津郡朝日村
小川第二耕地整理組合

第十二圖

開墾地共同建造物



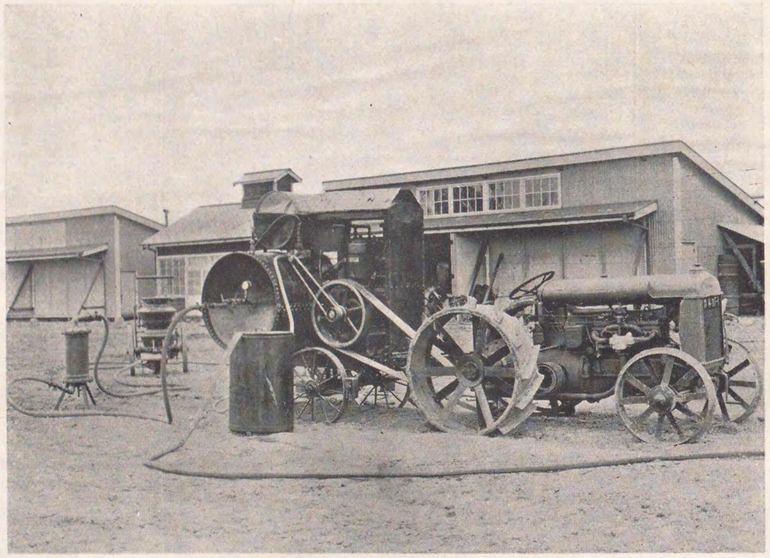
（上）宮崎縣兒湯郡川南村耕地整理（深田農場）ニ於ケル集會所兼共同作業場

（下）同上ニ於ケル神社

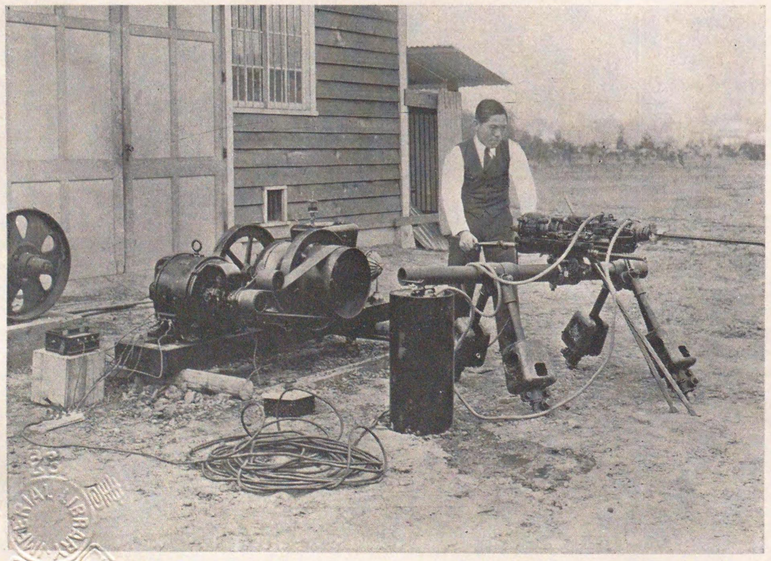
第十三圖

膠灰噴射機及鑿岩機

（最近農林省農用機械管理所ニ於テ備ヘ附ケタル機械）



膠灰噴射機（フォードソン型二十二馬力牽曳機ヲ動力トス）



鑿岩機（發電裝置附）

338-651

耕地擴張改良事業要覽第七次

第一編　耕地擴張改良奬勵事項

第一　事務

一　中央事務

（イ）農林省—農務局—耕地課

- 耕地整理ニ關スル事項
- 農業水利ニ關スル事項
- 大規模開墾計畫ニ關スル事項
- 開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營ニ關スル事項
- 土地利用ニ關スル事項
- 開墾助成ニ關スル事項
- 耕地ノ擴張及改良ニ伴フ移住ニ關スル事項
- 耕地ノ擴張改良及維持ニ用フル器具機械ニ關スル事項
- 農用機械管理所ニ關スル事項

（ロ）耕地擴張改良ニ關スル事務

耕地擴張改良ニ關スル中央事務ハ明治三十二年三月耕地整理法制定當時農商務省農務局農政課ノ掌ルトコロナリシカ明治三十

九年六月一日耕地整理課ヲ新設セリ大正八年ニ至リ開墾助成法ノ發布ト共ニ同年五月十七日開墾課ノ新設ヲ見大體ニ於テ耕地擴張ニ關スル事務ハ同課ノ所管ト爲リ耕地改良ニ關スル事務ハ耕地整理課ノ所管ト爲レリ大正十年五月七日食糧局ノ新設ト共ニ兩課共之ニ編入セラレタリシモ大正十三年十二月二十日官制改正ノ爲同局ノ廢止ニ伴ヒ再ヒ農務局ニ移管セラレ同時ニ兩課ヲ併セテ耕地課ヲ新設セリ大正十四年四月一日農林省分立ニ際シ同省農務局耕地課ト爲レリ其ノ分課規程ハ當初耕地整理、農業水利、土地利用及開墾助成ニ關スル四項目ナリシカ昭和二年十月二十四日ヨリ前揭末尾ノ三項目追加セラレ昭和四年六月二十六日更ニ大規模開墾計畫及開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營ニ關スル二項目追加セラレタリ同課ニ於テ現在實行中ノ事務ヲ示セハ左ノ如シ

耕地
- 擴張改良共通施設
  - 一 耕地整理法
  - 二 技術員及事務員養成
  - 三 耕地整理及土地改良奬勵費規則
  - 四 事業資金
  - 五 農用機械ノ利用奬勵
  - 六 揚水機、地質、地下水等ノ特種技術指導
  - 七 諸般ノ研究調査
  - 八 土地利用計畫
- 擴張施設
  - 九 開墾助成法
  - 十 開墾地移住奬勵
  - 十一 大規模開墾計畫
  - 十二 開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營
  - 十三 開墾地利用ニ關スル試驗及奬勵
- 改良施設
  - 十四 農業水利改良計畫
  - 十五 用排水幹線改良事業

二 地方事務

耕地擴張改良ニ關スル地方事務ノ管掌ハ地方ニ依リ其ノ課名ヲ異ニス而シテ各地方ニハ國庫ヲ以テ特ニ耕地整理及開墾監督技術官ヲ配置シテ地方廳ノ職員ト共ニ專ラ地方事務ニ當ラシム今其ノ現狀ヲ示セハ左ノ如シ

府縣名	課名	耕地整理監督官（技手）	開墾監督官技師	開墾監督官技手
青森	耕地課	一	一	
岩手	耕地整理課	一		
宮城	耕地課	一		一
秋田	耕地課	一		
山形	耕地課	一		
福島	耕地課	一		
茨城	耕地課	一		
栃木	耕地課	一	一	
群馬	耕地課	一	一	
埼玉	耕地課	一		一
千葉	耕地課	一		
東京	整地課			一
神奈川	農務課	一	一	
新潟	耕地整理課	一	一	
富山	耕地課	一	一	
石川	耕地課	一	一	
福井	農林課	一	一	
山梨	農商課	一	一	
長野	耕地課	一	一	
岐阜	耕地課	一		一
静岡	耕地課	一	一	
愛知	耕地整理課	一		

府縣名	課名	耕地整理監督官（技手）	開墾監督官 技師	開墾監督官 技手
三重	耕地整理課	一	一	
滋賀	農務課	一	一	
京都	農林蠶絲課	一	一	
大阪	農務課	一		一
兵庫	耕地整理課	一	一	
奈良	耕地課	一		一
和歌山	農務課			
鳥取	耕地課	一	一	
島根	農務課	一		一
岡山	耕地課	一	一	
廣島	農務課	一	一	
山口	耕地課	一	一	
德島	農林課	一	一	
香川	農林課	一	一	
愛媛	耕地課	一	一	
高知	耕地課	一	一	
福岡	耕地課	一	一	
佐賀	耕地課	一	一	
長崎	耕地課	一	一	
熊本	耕地課	一	一	
大分	耕地課	一	一	
宮崎	耕地課	一	一	
鹿兒島	農蠶課	一	一	
沖繩	農林課	一		一
計		四三	三四	一二

第二　耕地整理法

耕地整理法ハ明治三十二年三月法律第八十二號ヲ以テ制定セラレ翌明治三十三年一月十五日ヨリ施行セラレタリ法律施行ノ當初ニ於テハ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ其ノ所有者共同シテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠ノ變更廢置ヲ行フニ過キサリシカ實施ノ經驗ニ基キ漸次改正ヲ加ヘラレ明治四十二年四月法律第三十號ヲ以テ根本的大改正ヲ加ヘラレタリ今其ノ改正ノ要點ヲ列記スレハ

一、舊法ニ於テハ農耕發展上主要ナル開墾、地目變換ヲ認メサリシモ新法ハ之ヲ目的事項中ニ加ヘ尙整理ノ結果生シタル工作物ノ維持管理ニ付新ニ規定スルトコロアリタリ

二、舊法ニ於ケル耕地整理ハ單純ナル共同事業ナリシヲ新法ハ法人タル耕地整理組合トシテ權利義務ノ主體タルコトヲ得セシメタリ

三、舊法ニ於ケル耕地整理ノ發起ハ地區內土地ノ所有者數、面積、地價ノ各三分ノ二以上ノ同意アルコトノ條件ヲ要シタルモ新法ハ土地所有者數ニ於テハ二分ノ一以上ノ同意ヲ以テ足レリトシ面積、地價ニ於テハ各三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ組合ノ設立ヲ許可シ得ルコトトナセリ

四、土地ノ强制編入ハ舊法ニ於テハ共同施行ニ之ヲ認メタルモ新法ニ於テハ共同施行ハ土地所有者全體ノ意思ノ合致ヲ要シ耕地整理組合ノミ强制編入ヲ許スコトトナセリ

五、耕地整理監督權ニ關シテハ舊法ハ農商務大臣ノミ之ヲ有シタルモ新法ハ之ヲ改メテ第一次ニ郡長、第二次ニ地方長官、第三次ニ主務大臣トシ地區ノ區域カ郡市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市內ニ止ル場合ニ於テハ第一次ニ地方長官第二次ニ主務大臣トナセリ

六、舊法ニ於テハ耕地整理施行ノ認可權ハ主務大臣ニ屬シタルモ新法ハ整理施行又ハ組合設立ノ認可權ハ總テ之ヲ地方長官ニ屬スルコトトセリ

七、地租ニ付テハ新舊法大差ナキモ新法ニ於テハ開墾又ハ地目變換カ地區總面積ノ五分ノ一以上ニ當ルトキハ現地價ニ依ラシテ其ノ從前ノ地域ニ依リ地價ヲ修正シ開墾ニ在リテハ工事着手ノ年ヨリ六年目ニ至リ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルコトトナセリ又舊法ニ於テハ整理後國有地ノ增加シタル場合地區內ノ

總地價ヲ減スルコトナカリシカ新法ハ相當減スヘキ旨規定セリ

大正三年三月法律第三十二號ヲ以テ再ヒ大改正ヲ加ヘラレタリ今其ノ改正ノ要點ヲ列記スレハ

一、湖海ヲ埋立又ハ干拓シテ耕地ト爲ス事業ニ耕地整理法ヲ適用シ得ルコトトナセリ

二、從來耕地整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ハ土地所有者ニ限リタルモ登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員タルコトヲ得セシメ以テ事業ノ實施ニ便セリ

三、從來開墾又ハ地目變換ヲ行ヒタル從前ノ地域ニ付全部地價ヲ修正シタルモ之ヲ改メテ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ付テノミ地價ヲ修正スルコトトナセリ

大正八年四月法律第四十五號ヲ以テ更ニ改正ヲ加ヘラレタリ今其ノ改正ノ要點ヲ列記スレハ

一、耕地整理ノ事業トシテ行ヒ得ル事項ノ範圍ヲ擴張シ開墾、埋立、干拓等ヲ行フ場合ニ於テハ整理施行地ノ利用ニ必要ナル施設ヲモ耕地整理ノ事業トシテ遂行シ得ルコトトナセリ其ノ主タル働キハ移民ヲ招致シテ新ニ開墾事業ヲナス場合ヲ豫期シタルモノナリ

二、水面ノ埋立、干拓ヲ行フ場合ニ漁業權トノ調和解決ヲ計ル爲漁業權ニ對スル補償規定ヲ設ケ可成當事者間ノ紛議ヲ避ケムコトヲ期セリ

三、從來耕地整理組合聯合會ノ設置ヲ認メサリシモ斯クテハ組合ト其ノ事業ノ一部ヲ共同シテ行ハムトスル場合ニ於テハ不便ナルヲ以テ耕地整理組合聯合會ナル法人ヲ設置シ得ル途ヲ啓ケリ

四、起債ノ最長期間ハ從來二十年ナリシヲ五十年ニ改メタリ耕地整理地價据置年期ハ從來二十年以上三十年以內ナリシヲ四十年ニ改メ、又耕地整理新開免租年期ハ從來埋立地、干拓地ハ五十年以內ナリシヲ六十年ニ改メ開拓地ハ十年以內ナリシヲ二十年ニ改メタリ

昭和六年三月法律第二十九號法律第十五號抵當證券法附則竝同年十月法律第六十八號ヲ以テ相當廣汎ノ改正ヲ加ヘラレタリ今此等改正ノ要點ヲ摘記スレハ

一、法律第二十九號ニ依ル改正ハ地租法ノ制定ニ伴フ耕地整理施行地ノ賃貸價格配賦ニ關スル規定ヲ主トシ其ノ他從來ノ地價ニ關スル規定ヲ賃貸價格ニ改メタルヲ從トシ且之ヲ機トシテ既ニ行ハレタル關係法律ノ改廢ニ基ク當然ノ改正ヲ行ヒ尙耕地整理ノ本質上當然定マルヘキ整理施行區域ニ關シ從來動モスレハ各地方ニ依リ寬嚴ノ差ヲ生シ或ハ諸般ノ事情ニ因リ眼界ヲ逸脫スルノ惧アリタルニ鑑ミ立法ノ主旨ニ於テハ毫モ異ルコトナキモ法ノ運用ヲ益適正ナラシムル爲明文ヲ以テ整理施行區域ニ一定ノ制限ヲ設ケタル等ナリ

二、法律第十五號抵當證券法附則ニ依ル改正ハ新ニ制定セラレタル抵當證券法施行ノ結果必要ヲ來シタル事項ニ付之ヲ爲シタルモノナリ

三、法律第六十八號ニ依ル改正ハ耕地整理法第七十九條ニ一項ヲ加ヘ一定ノ場合ニ組合長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ滯納シタル組合費其ノ他ノ金錢ノ强制徵收ヲ直接ニ爲シ得ルコトニ改正シタルモノナリ

左ニ現行法ニ於ケル事業ノ目的、施行者、施行順序等ニ付要項ヲ示サン

一、事業ノ目的

耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フ事業ナリ

(イ) 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事

（明治三二年三月法律第八二號 同三八年二月同第三一號 同四三年四月同第四四號 大正八年四月同第四五號 同一五號附則 明治三六年六月法律第一一號 同四二年四月同第三〇號 大正三年三月同第三二號 昭和六年三月同第二九號 同年十月同第六八號改正）

（ロ）前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ其ノ維持管理

（ハ）開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設

（ニ）前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、府縣、市町村其ノ他公共團體ノ認許ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

二、事業ノ施行者

耕地整理事業ノ施行者ハ組合ヲ設立シテ事業ヲ施行スルモノ大部分ヲ占メ其ノ他數人ノ共同施行又ハ一人施行アリ組合ハ法人ニシテ尙一組合カ他ノ組合ト事業ノ一部ヲ共同シテ行ハントスル場合ニハ聯合會ヲ設置スルコトアリ聯合會モ亦法人ナリ

三、事業施行ノ順序

事業施行者ハ耕地整理組合ノ設立又ハ施行ニ對スル地方長官ノ認可ヲ受ケテ工事ニ着手シ工事完了後土地ノ交換分合卽チ換地處分ヲ行ヒテ之ニ對スル地方長官ノ認可ヲ受ケ而シテ組合ナレハ解散ノ手續ヲ爲シ事業ヲ終了スルモノトス

地方長官ハ此ノ事業ニ對シ直接ノ指導監督ヲ行フト共ニ之ヲ本省ニ報告シ本省ニ於テハ文書又ハ實地ニ付指導監督ヲ行ヒ以テ事業ノ健全ナル發達ヲ期シツツアリ

北海道ノ耕地整理ニ付テハ特例ヲ設クルヲ得ルコトトナリ居ルモ未タ之ヲ設クルニ至ラス

第三　技術員及事務員養成

耕地擴張改良事業ヲ行フニ當リテハ幾多ノ重要ナル技術上ノ知識及繁雜ナル事務上ノ知識ヲ傾注セサルヘカラサルカ故ニ之ニ從事スル者ヲ養成スル必要アリテ耕地整理講習ハ明治三十八年度ニ於テ大日本農會附屬私立東京高等農學校（後ニ東京農業大學ト改稱）ニ委託シテ必要ナル學科ヲ講習シ專門技術者ノ養成ヲ行ヒタルヲ初トシ翌年度ニ於テハ之ヲ擴張シテ右ノ外更ニ東京帝國大學農學部及私立攻玉社工學校ニ委託シテ之ヲ施行セリ私立攻玉社工學校ノ委託ハ明治三十九年度及同四十年度ノ兩年度ニ限リ爾後廢止シタルモ農學部及東京農業大學ノ委託ハ引續キ每年度之ヲ實行シテ今日ニ至レリ而シテ大正五年度以降ハ以上ノ外更ニ府縣農會、耕地整理ニ關スル地方團體等ニ委託シテ地方講習ヲ開催シ又昭和二年度ヨリハ帝國耕地協會ニ委託シ中央及地方ニ講習ヲ開催セリ現在實行中ノ要項ヲ示セハ左ノ如シ

一、東京帝國大學農學部ニ委託セルモノ

本學ニ於ケル講習ハ第一種及第二種ニ區別シ第一種ハ東京帝國大學農學部在學者ニ對シ在學中ニ之ヲ行ヒ第二種ハ其ノ他ノ專門學校程度以上ノ農學科又ハ工業學校土木科卒業者ニ對シ一箇年ノ講習ヲ行ヒ何レモ技術員ノ養成ナリ

二、東京農業大學ニ委託セルモノ

本學ニ於ケル講習ハ第三種ニシテ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年以上ノ農業學校若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年以上ノ農業學校卒業者、中學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學術技藝ヲ有スト認ムル者ニ對シ一箇年ノ講習ヲ行ヒ技術員ノ養成ナリ

三、帝國耕地協會ニ委託セルモノ

帝國耕地協會ニ於ケル講習ハ長期ト短期トニ分チ主トシテ地方廳、耕地整理組合等ニ於テ實務ニ從事スル者ニ對シ技術竝事務上必要ナル專項ヲ講習スルモノニシテ長期ハ三箇月短期ハ八日乃至十日トス

第四　耕地整理及土地改良奬勵費規則

耕地整理及土地改良ノ奬勵ニ付テハ當初府縣若ハ府縣農會等ニ於テ技術員ヲ設置シ設計及工事監督等ヲ補助指導シタルモノニシテ政府ニ於テ特ニ施設スルトコロナカリシカ明治三十九年度ニ於テ初メテ耕地整理及土地改良奬勵費規則ヲ設ケ耕地整理及

土地改良ノ施行ニ關スル調査、設計、工事監督ニ要スル府縣ノ設備費ニ對シ國庫補助ヲ行ヒ以テ其ノ施設ノ完成ヲ計レリ而シテ明治四十一年度ヨリ耕地整理事業中道路、堤塘、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢置又ハ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事ニ要スル費用ニ對スル府縣ノ補助金ニ對シ國庫補助ヲ爲スコトトナリ爾後數回ノ改正ニ依リ事業奬勵ノ範圍益々擴張セラレ以テ今日ニ至レリ其ノ間重要ナル改正ノ行ハレタルハ明治四十三年三月、大正元年十月、大正四年三月ノ三回ナリ今其ノ主要ナル點ヲ擧ケムニ明治四十三年三月ノ改正ニ於テハ從來本規則ノ施行地ハ府縣ニ限ラレタルモ近年北海道ニ於テモ土地改良事業ノ發達ヲ見之カ調査設計工事監督等ノ費用ニ對シテモ府縣ト均シク補助金ヲ交付スルコトトナリタリ大正元年十月ノ改正ハ工事費補助金ニ對スル國庫補助ノ範圍ヲ擴張シテ耕地整理事業中工事又ハ設備ニ要スル總テノ費用ニ對スル補助金ニ對シテモ補助シ得ルコトニ改メタリ大正四年三月ノ改正ハ從來耕地整理費補助金ハ耕地整理事業年度ト會計年度ト一致セサル爲會計年度ニ依リ補助金ヲ分割交付スルノ不便アリシニ依リ之カ不便ヲ避クル爲補助金ノ交付ニ關スル規程ヲ以テ特ニ交付期間ヲ定メタル場合ハ會計年度ニ依リ之ヲ分割スルヲ要セス其ノ年度ノ補助金ヲ以テ右期間內ニ行フ工事又ハ設備費ニ對シ交付スルヲ得ルノ途ヲ開キタリ

又大正十五年九月二十一日農第一一二〇三號、昭和四年九月十一日農第一二二六七號、昭和五年四月二十一日農局第一〇八一號、農務局長通牒及同年十月二十三日農局第三三〇九號、同年十二月二十四日農第一七六二七號決議ヲ以テ耕地整理及土地改良ノ調査設計工事監督等ニ從事スル技術職員ノ俸給竝旅費ニ對シ高率ノ補助金ヲ交付スルコトトナレリ

大正十二年關東震災ヲ初トシ各地方ニ於ケル震災、水害、潮害等ニ依リ耕地ノ被害甚大ナルモノニ對シテハ之カ復舊ノ爲特ニ豫算ヲ要求シテ特別國庫補助金ヲ交付セリ

以上現行補助金種別ノ大要ハ左ノ如シ

一、道府縣耕地整理及土地改良ノ調査設計工事監督等ノ費用ニ對スル補助金

但シ特ニ指定シタル地方技術職員ノ俸給竝旅費等ニ對スル高率補助金ヲ含ム

二、耕地整理事業中府縣ニ於テ定メタル補助金交付ニ關スル規程ニ基キ其ノ工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對シ府縣ノ交付スル補助金ニ對スル補助金

三、震災其ノ他ノ災害耕地復舊ノ爲ニ要スル調査設計工事監督等ノ費用及災害耕地ノ復舊事業ニ對スル府縣ニ於テ定メタル耕地整理補助金交付規程ニ基キ其ノ工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對シ府縣ノ交付スル補助金

ノ歩合ハ左ノ如シ（昭和六年末現在）

府縣	補助金交付標準	同上交付歩合
青森	(一) 道路、堤塘、橋梁、溝渠ノ變更廢置、灌漑排水ニ關スル工事又ハ設備費ニ對シ	
	(二) 其ノ他ノ工事費ニ對シテハ	百分ノ三十以內
岩手	(一) 灌漑排水ニ關スル主要工事及設備、湖海ノ埋立、干拓竝災害復舊工事	百分ノ十五以內
	(二) 土地改良ニ關スル主要工事及設備	百分ノ三十以內
宮城	開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケサル地區ニシテ工事ニ要シタル費用ニ對シ左ノ標準ニ依リ補助金ヲ交付ス	
	(一) 溜池工事費	百分ノ二十以內
	(二) 隧道、揚水機竝五町歩未滿ノ開墾助成法第一條該當ノ事業	百分ノ十五以內
	(三) 其ノ他ノ工事	百分ノ十以內
秋田	溜池、揚水機、用排水幹線、鑿井、頭首工及其ノ附帶工事ノ新築、改築等ニシテ用排水ノ改良ニ依リテ受クヘキ耕地十町歩以上ヲ支配スルモノニシテ工事費金二千圓以上ヲ要スルモノニ對シ交付ス但シ地形ノ關係ニヨリ其ノ支配反別十町歩ニ達セサルモノ又ハ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ非ス	十分ノ三以內
山形	(一) 三十町歩以上ノ開田ヲ目的トスル開墾、埋立、干拓及地目變換ノ爲行フ左記工事ニ對シ工事費	
	(イ) 二千圓以上ノ溜池ノ新設又ハ改築 (ロ) 三十町歩以上ノモノ (ハ) 揚水機設置竝其頭首工又ハ排水口ヨリ排水場ニ達スル灌漑工事	十分ノ五以內
	(二) 十町歩以上ノ開田ヲ目的トスル開墾、埋立、干拓及地目變換ノ爲前項各號ノ工事ヲ行ヒタルトキ	十分ノ三以內
	(三) 五十町歩以上ノ開田以外ノ耕地整理ニシテ第一項各號ノ工事ヲ行ヒタルトキ	十分ノ三以內

福島	(一) 灌漑排水ニ關スル工事又ハ設備ニシテ主要ナルモノト認ムルモノニ對シ其ノ費用	百分ノ五十以内
	(二) 前號以外ノ設備工事ニ對シ其ノ費用	百分ノ二十以内
茨城	開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケサル地區ニ對シ左ノ區別ニ依リ交付ス	
	(一) 用排水幹線水路、揚水機、溜池、樋門、堰堤、隧道、橋梁、暗渠、伏越等ノ	百分ノ二十以内
	但シ縣土木費所屬區域及補助規程ニ該當スル事業ニ對シテハ同規程ノ補助率ニ依ル	
	(二) 工事施行中天災、事變等ニ依ル災害復舊工事費ニ對シテハ其ノ既成部分ノ五割以上破壞ノ程度ニ達シタリト認ムルモノ	
栃木	(一) 開墾、開田、荒地復舊、干拓及埋立等ニ依リ面積五反歩以上五町未滿ノ土地ヲ耕地トナシタルモノニ對シ工事費	五分ノ一以内
	(二) 施行地ノ面積五十町歩以上ノモノニ對シテハ左ノ標準ニ依リ交付ス	
	(イ) 揚水機、樋門、堰堤、隧道、溜池、堤塘、伏越、掛樋、埋樋	十分ノ三以内
	(ロ) 道路（町村道、縣道、國道改修及附帶シタル橋梁側溝ヲ含ム）水路（主ナル用排水路及暗渠排水設備タルコト）	十分ノ二以内
	但シ縣費支辨ニ係ル河川、湖沼ノ改良若ハ治水堤防工事並之ニ附帶スル工事ニ付テハ十分ノ三以内トス	
群馬	(一) 道路、堤塘、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢置及灌漑用水ニ關スル設備工事ニ對シ其ノ費用	十分ノ二以内
	(二) 三十町歩以上ノ湖海ノ埋立干拓ニ對シテハ前號ノ補助額以外一町歩ニ付金二十圓以内ヲ補助ス	
	(三) 溜池若ハ水路ノ新設又ハ改築、揚水機ノ設置竝其ノ附帶工事、地下水利用ニ關スル設備又ハ工事ニ對シ其ノ費用	十分ノ二以内
埼玉	(一) 一般ノ耕地整理事業ノ設備工事費	十分ノ二以内
	但シ揚水機設置費カ總經費ノ三分ノ一ヲ超過スル場合ニハ揚水機設置費ニ限リ本項補助額ノ外更ニ十分ノ一以内ヲ補助ス	
	(二) 非常ノ災害ニ因リ耕地ノ破損シタル土地ニ對シテハ其ノ事業費	十分ノ三以内
千葉	(一) 開墾、地目變換、區劃形質ノ變更、埋立、干拓、道路、堤塘、畦畔、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備工事ニ對シ其ノ費用	八分ノ一以内
	(二) 揚水機ノ設置ニ對シ其ノ費用	十分ノ一以内
	(三) 暗渠排水ニ對シ其ノ費用	四分ノ一以内
	前三項ノ設備若ハ工事カ左ノ事項ニ該當スルトキハ工費ノ二分ノ一迄增加スルコトヲ得	
	(イ) 樞要里道又ハ其ノ橋梁（ロ）縣費支辨ノ道路若ハ堤塘ニ施設セル橋梁、樋管又ハ水閘（ハ）水害除去ノ爲必要ナル堤塘、疏水、改修若ハ浚渫工事（ニ）國又ハ縣ノ起業ニ係ル土木工事ノ爲必要ヲ生シタル工事	
	(四) 非常ノ災害ニ依リ復舊竝之ニ伴フ改良事業ニ對シ左ノ補助金ヲ交付ス	
	(イ) 主要工事ト認ムヘキ設備又ハ工事	三分ノ二以内

東京	(ロ) 其ノ他ノ設備又ハ工事費	
	耕地整理事業ノ爲支出シタル工事又ハ設備費繰算額五百圓以上ノモノニ對シ左ノ標準ニ依リ補助金ヲ交付ス	
	(一) 開墾、湖海ノ埋立、干拓、地目變換、荒地復舊、灌漑、排水用揚水機ノ設置、暗渠排水工事、特種工事又ハ設備費	十分ノ四以内
	(二) 前號以外ノ工事又ハ設備費	十分ノ三以内
	(三) 臨時災害ノ爲復舊ヲ要スル工事ニ豫シテハ被害狀況ニ依リ其費用	十分ノ五以内
神奈川	(一) 灌漑排水竝道路ニ關スル工事若ハ設備ニ對シ	百分ノ二十以内
	(二) 前號以外ノ工事若ハ設備ニ對シ	百分ノ十五以内
	(三) 工事中災害ニ因リ既成部分ニ破損ヲ生シタルモノノ復舊ニ必要ナル工事若ハ設備ニ對シ	災害ノ程度ニ依リ其ノ都度知事ニ於テ歩合ヲ定ム
新潟	(一) 五町歩以上ノ開墾、湖海ノ埋立、干拓又ハ開田ニ關スル揚水機、溜池、鑿井、頭首工、樋門、締切堤防用水取入口ヨリ開田地區迄又ハ開田地ヨリ排水口迄ノ幹線水路若ハ之ニ伴フ灌漑排水ノ設備又ハ工事	十分ノ三以内
	(二) 水田面積五町歩以上ノ灌漑排水ニ關スル揚水機、溜池、鑿井、頭首工、樋門、締切堤防用水取入口ヨリ地區内水田迄又ハ地區内水田ヨリ排水口迄幹線水路若ハ之ニ伴フ設備又ハ工事	十分ノ二以内
	(三) 前各號以外知事ニ於テ補助ノ必要アリト認メタル設備工事	十分ノ二以内
	(四) 補助金ヲ受ケタルモノニシテ工事中天災地變ノ爲復舊ヲ要スル場合又ハ設計書ヲ變更シタル時ハ前各號ノ標準ニ依リ補助スルコトアルヘシ	
富山	(五) 大正十五年七、八月ノ災害ノ爲荒廢シタル耕地、灌漑、道路、頭首工、堤塘、樋門、溜池及揚水機ニシテ面積一町歩以上、事業費百圓以上ノモノニ對シ其ノ事業費	二分ノ一以内
	道路、堤塘、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢置灌漑排水ニ關スル設備工事ニ對シ其ノ費用	二分ノ一以内
石川	前項ノ費用ニシテ總額五十圓未滿ナルトキハ補助金ヲ交付セス	
	耕地整理工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對シ	百分ノ十五以内
福井	災害復舊事業ニシテ知事ノ必要ト認メタル場合	百分の四十以内
	道路、堤塘、橋梁、溜池ノ新設變更廢置又ハ灌漑排水ニ關スル設備工事ニ對シ其ノ費用	十分ノ三以内
	但シ手直修繕又ハ開墾助成金ノ交付ヲ受クル施設ニ對シテハ交付セス	
山梨	(一) 開墾又ハ開田ヲ目的トナス地目變換、湖海ノ埋立、干拓、溜池、堀井、揚水機、伏越隧道、頭首工、排水樋門等ノ設備工事ニ對シ其ノ費用	十分ノ五以内

長野	(二)	前號以外ノ工事設備ニ對シ其ノ費用
	(一)	道路、堤塘、溝渠、溜池ノ變更廢絶又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備工事ニ對シ其ノ費用
	(二)	開墾及開田ヲナス地目變更ヲ行フ部分ニ屬スル前號以外ノ工事ニ要スル費用
	(三)	前二項以外ノ設備又ハ工事ニ要スル費用
岐阜		前各項ノ補助金ハ特別ノ事情アルモノノ外一地區ノ面積五町歩以上ノモノニアラサレハ交付セス
	(一)	十町歩以上ノ地區ニ對シ整理事業ノ一部トシテ施行スル道路、堤塘、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢絶又ハ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事ニ對シ其ノ費用
		但シ耕地整理法第三十條第四項ノ告示前不可抗力ニヨル破損復舊工事ニシテ特ニ補助ノ必要アリト認メタルトキハ十分ノ五以内ヲ補助ス
	(二)	十町歩以上ノ開墾開田ヲナス地目變更ヲ行フモノニハ前項ノ補助金ヲ增加交付スルコトアルヘシ
	(三)	十町歩未滿ノモノ又ハ第一項ニ記載スル以外ノモノト雖モ地區ノ狀況ニ依リ知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ
靜岡		開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケサル地區ニ對シ左ノ區別ニ依リ交付ス
	(一)	耕地整理事業中、工事又ハ設備ニ要シタル費用
	(二)	浸水面積五町歩以上ノ河川ノ變更又ハ災害其ノ他避クヘカラサル事由ニ因リ更ニ施行スル前號ノ工事竝設備ニ要シタル費用
愛知	(三)	一町歩以上五町歩未滿ノ開墾、湖海ノ埋立若ハ干拓又ハ開田ニ對シ
	一、	田トナス場合ニハ一段歩當金拾圓以內
	一、	畑トナス場合ニハ一段歩當金五圓以內
	(一)	道路（重要道路ニシテ之ニ附帶スル橋梁、溝渠、暗渠等ヲ含ム）水路（主要水路ニシテ之ニ附帶スル堤塘護岸段落制水堰堨等ヲ含ム）堤塘、溝渠、橋梁（平均方三坪以上ニシテ其工費三百圓以上ノモノ）樋類（平均方三坪以上ニシテ其工費三百圓以上ノモノ）溜池（支配段別五町歩以上）ノ變更廢絶又ハ灌漑排水ニ關スル設備及溜池、揚水機以外ノ水源工事（支配段別五町歩以上）ノ
	(二)	揚水機及其ノ基礎工事（支配段別五町歩以上ノモノ）
	(三)	前項ノ事業ニシテ工事中天災ニヨリ既成部分ニ破損ヲ生シ復舊工事ヲ爲スニ當リ其ノ災害ノ程度特別補助ノ必要アリト認メタルモノニ限リ其ノ費用
	(四)	災害ノ程度甚大ニシテ多額ノ工費ヲ要シ負擔ニ堪ヘ難シト認ムル時ハ特ニ補助率ヲ增加スルコトアルヘシ
三重	(一)	三十町歩以上ノ地區ニ於ケル（土地ノ狀況ニヨリ三十町歩未滿ト雖モ補助スルコトアルヘシ）道路、河川ノ附替、灌漑

長野	(二)	十分ノ三以內
	(一)	百分ノ三十以內
	(二)	百分ノ十五以內
	(三)	百分ノ五以內
岐阜		十分ノ三・五以內
靜岡	(一)	三分ノ一以內
	(二)	二分ノ一以內
愛知	(三)	
	一、	十分ノ五以內
	一、	十分ノ三以內
	(一)	十分ノ五以內
	(二)	十分ノ三以內
	(三)	十分ノ五以內
三重	(一)	

滋賀		用排水機、堰堤及樋管其ノ他特ニ必要ト認メタル工事ニ對シ其ノ費用
	(二)	耕地擴張事業ヲ奬勵スル爲一反歩以上ノ土地ノ開墾、開拓、埋立又ハ干拓ヲ爲シタル者ニ對シ工事費豫算ノ二分ノ一以內ノ範圍ニ於テ
		田ト爲シタル者ニ付テハ一反歩拾五圓以內
		畑ト爲シタル者ニ付テハ一反歩拾圓以內
		但シ第一項ニ依リ補助金ヲ交付スル工事ニ對シテハ交付セス
	(一)	道路（道路ニ附帶スル橋梁暗渠ヲ含ム）堤塘、溝渠、橋梁、溜池ノ新設變更又ハ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事ニシテ各一箇所費用金五百圓以上ノモノニ限リ其ノ精算額
	(二)	五町歩以上ノモノニ限リ前號ノ工事又ハ設備費ニ對シ精算額
	(三)	五畝歩以上五町歩未滿ノ開墾、埋立、干拓及開田ヲ目的トスル地目變更ニ對スル工事竝設備費ニ對シ精算額通リ增加交付ス
京都	(イ)	田ト爲シタルモノニ對シ一段歩ニ付二十圓以內
	(ロ)	畑ト爲シタルモノニ對シ一段歩ニ付十五圓以內
		本號ノ補助金ハ工事費ノ二分ノ一以內トス
	(一)	開墾助成法ノ適用ヲ受クル事業ニ對シテハ其ノ費用
	(二)	前號以外ノ事業ニ對シテハ其ノ費用
大阪	(一)	一町歩以上五町歩未滿ノ開墾、埋立、干拓、荒地復舊及開田ヲ目的トスル地目變換ニ對スル工事竝設備費
	(二)	前號以外ノ設備又ハ工事費
兵庫	(三)	灌漑排水ニ關スル設備又ハ工事ヲ行フ土地改良事業ニシテ其ノ費用二千圓以上ノモノ
	(一)	溜池、揚水用井堰、主要道路、其ノ他水源又ハ排水ニ關スル特殊工事及設備カ地目變換、開墾、埋立、干拓ニヨリ開田ヲ目的トナスモノニ在リテハ其ノ費用
	(二)	前號以外ノモノニハ其ノ費用
	(三)	(イ) 天災地變ニ因リ荒廢ニ歸シタル土地ノ復舊工事費
		(ロ) 前項ニ附帶スル溜池、揚水機、井堰、主要水路其ノ他ノ水源又ハ排水ニ關スル工事及設備費
奈良	(一)	每事業年度ニ於テ支出シタル工事費決算額ニ對シ
	(二)	工事施行中天災其ノ他不測ノ障碍ニ依ル復舊工事費ニ對シテハ事業ノ遂行困難ナルモノニ限リ其ノ費用ニ對シ
和歌山	(一)	耕地整理工事又ハ設備

滋賀		
	(二)	二分ノ一以內
	(一)	百分ノ三十以內
	(二)	百分ノ十五以內
京都	(三)	
	(イ)	百分ノ二十以內
	(ロ)	百分ノ三十以內
	(一)	百分ノ二十以內
	(二)	百分ノ三十以內
大阪	(一)	十分ノ四以內
	(二)	十分ノ三以內
兵庫	(三)	十分ノ二以內
	(一)	十分ノ二以內
	(二)	十分ノ一以內
	(三)	百分ノ五以內
	(イ)	百分ノ五以內
	(ロ)	百分ノ二十以內
奈良	(一)	百分ノ二十五以內
	(二)	百分ノ五十以內
和歌山	(一)	百分ノ二十以內

鳥取	(一) 暗渠排水及溜池工事		
	(イ) 揚水機、溜池、堰樋門、井戸水源、暗渠ノ新設又ハ變更ニ對シ其ノ費用		百分ノ三十以内
	(ロ) 道路、堤塘、溝渠、橋梁、暗渠、排水、伏越、掛樋、隧道及井堰ノ新設變更又ハ床堰工事ニ對シ其ノ費用		十分ノ三以内
	(ハ) 災害ニ依ル復舊工事ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ交付ス		十分ノ二以内
	(イ) 揚水機溜池ハ其ノ工事費		百分ノ七十以内
	(ロ) 堰樋門、井戸水源、暗渠及導水溝ハ其ノ工事費		百分ノ五十以内
	(ハ) 道路、堤塘、溝渠、伏越、掛樋、隧道暗渠井堰及橋渠ハ其ノ工事費		百分ノ三十以内
	(二) 荒地及畔畦ノ復舊ハ其ノ工事費		百分ノ六以内
	但各項共特別ノ事情アルモノニ對シテハ以下ノ補助率ニ依ラサルコトアルヘシ		
島根	(一) 面積三段歩以上五町歩未滿ノ開地湖海ノ埋立干拓及開田又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル施設及道路堤塘ノ新設若ハ變更ニ付テハ其ノ工事費		百分ノ二十以内
	(二) 前號以外ニシテ一地區ノ面積二町歩以上ノモノニシテ溜池、揚水機樋門、井堰、伏越、隧道、掛樋等竝之ニ伴フ附帶工事ニ付テハ其ノ工事費		百分ノ十以内
	(三) 一地區ノ面積五町歩以上ノモノニシテ前各號ノ場合以外ノ工事費		百分ノ五以内
	(四)〃荒地復舊工事ニ對シテハ其ノ都度之ヲ定ム		
岡山	(一) 灌漑、排水並道路、堤塘ニ關スル工事ニ在リテハ其ノ費用ニ對シ		十分ノ二以内
	(二) 前號以外ノ工事ニ在リテハ其ノ費用ニ對シ		十分ノ一以内
	五町歩以上ノ耕地整理事業中設備又ハ工事ニ要シタル費用		十分ノ二以内
廣島	(一) 十町歩以上ノ開墾埋立干拓開田ヲナス地目變換ニ伴フ溜池、揚水機、頭首工、樋門、伏越、隧道、筧、吹上等ノ特殊工事又ハ設備ニ關シ其ノ費用		十分ノ三以内
山口	(二) 十町歩未滿ノ前號規定ノ特殊工事又ハ設備ニ對シ其ノ費用		十分ノ二以内
	(三) 第一號第二號以外又ハ設備ニ對シ其ノ費用		十分ノ一以内
	但シ知事ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ハ十分ノ二迄交付スルコトヲ得		
	(四) 工事中天災地變ニ依ル復舊工事ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ費用ニ對シ		十分ノ五以内
徳島	(一) 五町歩未滿五段歩以上ノ開墾湖海ノ埋立又ハ開田ニ要スル費用ニ對シ		百分ノ二十以内
	(二) 前項ニ揭グル事業ニ伴フ灌漑排水ニ關スル施設又ハ道路、堤塘ノ新設若ハ變更ニ付テハ其ノ工事費ニ對シ		百分ノ二十以内
香川	(一) 一町歩以上ノ開墾又ハ地目變換ヲ行フモノ		百分ノ二十以内

	但シ土地ノ情況ニ依リ此ノ制限ニ依ラサルコトアルヘシ		
	(二) 十町歩以上ノ面積ヲ有スルモノ		十分ノ二以内
	但シ土地ノ情況ニヨリ又ハ前項ノ事業ヲ併セ行フ場合ニハ制限ニ依ラサルコトアルヘシ		
	(三) 溜池ノ新設又ハ變更ヲ行ヒ古田ノ用水補給ヲ目的トスルモノニアリテハ三十町歩以上ノ面積ヲ有スルモノ		十分ノ五以内
	但シ前號但書ニ該當スル場合ハ其ノ例ニ依ル		
	以上各項ノ工事ニ對シ補助金ヲ左ノ如クニ區別シ交付スルモノトス		
	(一) 普通補助金ハ耕地整理施行ノ爲支出シタル工事費總額		
	(二) 特別補助金ハ工事非常ノ災害ニ因リ復舊ノ爲支出シタル工事費總額		
	但シ特別補助金ヲ交付スル場合ニ於テハ普通補助金ハ交付セス		
	(三) 開墾補助金ハ一町歩以上五町歩未滿ノ開墾又ハ地目變換及之ニ伴フ事業ノ爲支出シタル工事費總額ヨリ普通補助金ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノ		
	但シ特別補助金ノ交付ヲ受クル事業ニ該當スルモノニ在リテハ其ノ部分ニ對スル開墾補助金ハ之ヲ交付セス		
愛媛	(一) 用排水路（灌漑區域ニ達スル迄ノ用水幹線及其ノ他ニ在リテハ底幅一間以上ノ水路ニ限ル）鑿泉ノ新設改良等ノ主要工事（附帶工事ヲ含ム）ニシテ各工事費一千圓以上ノモノニ對シ		十分ノ二以内
	(二) 耕作道（上幅九尺以上ノモノニ限ル）		十分ノ一以内
	(三) 其ノ他ノ工事ニ對シ		十分ノ二以内
高知	開墾助成法ニヨリ助成金ノ交付ヲ受ケサル地區ニシテ工事又ハ設備ニ要シタル費用ニ對シ左ノ標準ニ依リ補助金ヲ交付ス		
	(一) 區劃整理、水路、堤塘、溝渠、溜池等ノ新設變更廢止又ハ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事費		百分ノ十五以内
	(二) 開墾、埋立、開拓又ハ地目變換ニ依ル開田荒地復舊工事及之ニ伴フ道路堤塘又ハ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事費		百分ノ十五以内
	(三) 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル既成工事又ハ備設ノ災害復舊工事費ニ對シテハ前各項ニ準シ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ		百分ノ三十以内
福岡	(一) 五町歩以上ノ耕地整理ニ關スル工事又ハ設備費		百分ノ 五 以内
	(二) 五町歩以上ノ開田、埋立干拓及開田ヲナス地目變換ヲ行フモノニ對シテハ左ノ標準ニ依リ交付ス		百分ノ十五以内
	(三) 害復舊改良事業ニ要スル工事若ハ設備ニ要シタル費用ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ交付ス		
	(イ) 五町歩以上ノモノ		百分ノ十八以内
	(ロ) 五町歩未滿ノモノ		百分ノ二十五以内
	但シ開墾助成法ノ適用ヲ受ケサル被害輕度ノモノハ百分ノ二十以内トス		

佐賀	(一)、十町歩以上（土地ノ情況ニヨリ十町歩未滿ナルモノ）ノ開墾、湖海ノ埋立干拓及隈田ヲナス地目變換ヲ行フモノニテ其ノ部分ニ屬スル工事又ハ設備ニ對シ其ノ費用	十分ノ三以内
	(二)前號以外ノ設備工事ニ對シ其ノ費用	十分ノ二以内
	(三)市町村水利組合若ハ共同事業トシテ縣令第七十九號溜池、樋管、水路工事設計及監督規程ニ依リ行フ總費額一千圓以上ノ灌漑排水ニ關スル設備及工事竝之ニ伴フ必要ナル工作物ノ新設變更	十分ノ二以内
長崎	(四)災害其ノ他特別ノ事由アルモノニ對シテハ前各號ノ補助率ヲ增加スルコトアルヘシ	
	(一)耕地整理事業中支出シタル工事費	十分ノ二以内
	(二)農業水利ノ施設ヲ奬勵スル爲地下水利用ノ施設又ハ揚排水機ノ設備ヲ爲ス者ニ其ノ費用	三分ノ一以内
熊本	前二項ノ補助金ハ開墾助成法ニ依リ補助金ヲ交付スルモノニ對シテハ交付セス	
	(一)開墾助成法ノ適用ヲ受ケサル部分ニ對シ其ノ費用ニ對シ	百分ノ二十以内
	(二)災害復舊工事又ハ不測ノ障害ニ依リ工事困難ニ陷リタルモノニシテ知事ニ於テ必要ト認メタル場合ハ前條ノ規定ニヨリ其ノ費用ニ對シ	百分ノ五十以内
大分	(一)五町歩以上ノ耕地整理ノ工事若ハ設備ニ要シタル費用ニシテ開墾助成ノ適用ナキ場合ニ限リ交付ス 但シ五町歩以上ノ非助成事業ヲ併セ行フトキハ其ノ非助成部分ニ補助ス	百分ノ二十以内
	(二)災害復舊事業ニ對シテハ面積五町歩未滿ナルカ又ハ開墾助成法ノ適用アル場合ト雖補助スルコトアルヘシ 補助率ハ百分ノ五十迄增額ヲナスコトヲ得	
宮崎	補助事項ナシ	
鹿兒島	耕地整理事業ノ爲支出シタル工事費段當六十圓以上ヲ要スルモノニ對シ其ノ費用	十分ノ二以内
沖繩	開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケサル地區ニ對シ左ノ標準ニ依リ補助金ヲ交付ス 五町歩（土地ノ狀況ニ依リ五町歩未滿）以上ノ耕地整理工事及面積五町歩以上ヲ支配スル灌漑、排水、道路ノ新設、改廢竝其ノ附帶工事	五分ノ一以内

第五　事業資金

一　關係銀行法ノ要旨

(イ)　日本勸業銀行

(一)　有抵當貸付ノ場合

一　五十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動產ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲スコト

一　拂込資本金及積立金總高ノ二倍ニ相當スル金額ヲ限リ不動產ヲ抵當トシ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト（同銀行法第十四條參照）

(二)　無抵當貸付ノ場合

一　府縣市町村其ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ貸付ヲ爲ス場合ニ於テ抵當ヲ徵セサルコトヲ得ルコト

一　耕地整理法ニ依リ耕地整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ抵當ヲ徵セスシテ定期償還貸付又ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト

一　十人以上ノ農業者、工業者又ハ漁業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ又ハ十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコト（同銀行法第十五條參照）

(ロ)　農工銀行

(一)　有抵當貸付ノ場合

一　五十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動產ヲ抵當トシテ貸付ヲナスコト

一　拂込資本金額及積立金總高ノ二倍ニ相當スル金額ヲ限リ不動産トシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト

(二)　無抵當貸付ノ場合

一　府縣市町村又ハ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ對シ無抵當ニテ貸付ヲ爲スコト

一　耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ無抵當ニテ年賦償還、定期償還ノ貸付ヲ爲スコト

一　十人以上ノ農業者、工業者又ハ漁業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ五箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ又ハ十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコト（同銀行法第六條參照）

(ハ)　北海道拓殖銀行

(一)　有抵當貸付ノ場合

一　五十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付ヲナスコト

一　五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付ヲナスコト（同銀行法第七條參照）

(二)　無抵當貸付ノ場合

一　北海道ニ於ケル市又ハ法律ニ依リ組織スル北海道若ハ樺太ノ公共團體ニ對シ北海道拓殖銀行ハ無擔保ニテ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト

一　耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト

一　十人以上ノ農業者、工業者又ハ漁業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ五箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ又ハ十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト（同銀行法第八條參照）

二　低利資金

耕地整理事業ニ供給スル低利資金ハ明治四十三年度ヨリ毎年度大（正三年度除ク）藏省預金部（預金部普通地方資金資付規程ニ依ル）ヨリ日本勸業銀行又ハ府縣農工銀行ヲ通シテ貸付ス要領左ノ如シ

(イ)　資金ノ供給ヲ受クヘキ者

(一)　耕地整理組合

(二)　耕地整理組合聯合會

(三)　耕地整理共同施行者

(四)　道府縣市町村及市町村組合（耕地整理施行又ハ助成スルモノ）（單獨一人施行者ニハ本資金ノ融通ナシ）

(ロ)　資金ノ供給ヲ受クヘキ者ノ具有スヘキ資格

(一)　財務ノ整理良好ナルモノ

(二)　事業ノ計畫及償還ノ見込確實ナルモノ

(ハ)　貸付利率

四分八厘

(ニ)　償還年限

(一)　年賦二十箇年（据置期間共）以内但シ特ニ必要アリト認メタルモノニ付テハ三十箇年（据置期間共）以内

第五　耕地整理事業資金

(二)定期五年以内

三　遞信省簡易生命保險積立金

昭和二年度ヨリ遞信省簡易生命保險積立金ヲ耕地擴張改良事業ニモ運用スルコトトナレリ現在ニ於ケル其ノ貸付要領左ノ如シ

(イ)資金ノ供給ヲ受クヘキ者

(一)耕地整理事業（耕地整理法ニ依リ地方自治團體又ハ耕地整理組合ノ行フ事業尙開墾助成法又ハ公有水面埋立法ニ依リ地方自治團體ノ行フ耕地改良擴張事業ヲモ含ム）

(二)前項事業ノ爲借入レタル舊債ノ償還

(三)國內移住奬勵補助資金（國內開墾地移住奬勵ノ爲地方自治團體カ開墾地移住者ニ對シ其ノ旅費、農具購入費及住宅又ハ共同建物ノ建設ニ必要ナル費用ノ補助ヲ爲スニ要スル資金）

尙此ノ外地方自治團體ノ行フ水利事業、土木事業等ニ對シテモ供給セリ

(ロ)貸付利率

年六分二厘

(ハ)償還年限

(一)年賦償還　二十五年以內（外ニ据置期間五年以內ヲ設クルコトヲ得）

(二)半年賦償還　二十五年以內（外ニ据置期間五年以內ヲ設クルコトヲ得）

(三)定期償還　五年以內

四　普通資金

耕地整理事業資金ハ以上ノ資金供給ヲ以テ十分ナリトセス尙日本勸業銀行、府縣農工銀行及地方普通銀行其ノ他ノ金融機關ヨリ融通ヲ受ケ昭和元年度ヨリハ生命保險會社ノ資金ヲ耕地整理事業ニ融通スルノ途ヲ開カレタリ今日本勸業銀行ノ普通資金貸付ニ關スル要領ヲ示セハ左ノ如シ

(一)利率　年賦貸付据置、年賦期間共年七分一厘
　　定期貸付　五箇年以內　七分一厘

(二)償還期間　年賦貸付　五十箇年以內
　　定期貸付　五箇年以內

五　耕地整理組合ノ債券發行

昭和二年度ヨリ耕地整理組合ノ起債方法ノ一トシテ債券發行ヲ認メタリ

六　失業救濟農山漁村臨時對策低利資金

失業救濟產業振興應急對策トシテ農山漁村ニ於テ臨時ニ企畫スヘキ事業勘カラサルモ開墾及耕地ノ改良、林道ノ開鑿、桑園ノ改植、舟溜、舟揚場ノ修築、牧野整備竝副業ニ關スル施設等ハ事業遂行ノ結果收益ヲ齎シ地方產業ノ振興ニ資スル所大ナルモノナルヲ以テ政府ハ昭和五年度ニ於テ大藏省預金部ヨリ低利資金ヲ融通シテ事業ノ促進ヲ圖レリ

本對策ニ於テハ總テノ事業費ヲ最低ノ低利資金ニ求メ加フルニ該資金ハ原則トシテ府縣町村ヲ通シテ長期最低利ノ年賦償還法ニ依リ各團體等ニ貸付シムルモノニシテ事業ノ種類ニ依リ事業主體ノ負擔輕減ニ資スル爲國庫ヨリ利子補給ヲ爲スモノナリ

昭和五年九月八日附五農第一一一四號農林次官通牒
昭和五年十月一日附五農局第二九八一號農務局長通牒
昭和六年十一月四日第二二四號農林次官、大藏次官通牒
昭和六年六月十九日附六農第一〇五一號農林次官依命通牒
昭和六年八月十日附六農第一三八八號農林次官通牒
昭和六年八月十四日附六農第一三八四九號農務局長、山林局長、水產局長、畜產局長通牒

左ニ助成金交付要項ノ大要ヲ示サン

一、助成金ハ昭和五年十一月四日附農第一一、一四號ヲ以テ農林、大藏兩次官ヨリ通牒ノ失業救濟農山漁村臨時對策低利資金供給要綱ニ依リ普通耕地整理事業資金及蠶桑改良事業資金以外ノ資金ヲ借受ケタル事業主體ノ負擔輕減ニ資スル爲道府縣ニ對シ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ之ヲ交付スルモノトス

二、助成金ノ交付額ハ左ノ標準ニ依ル

(一) 元金償還据置期間中ニ在リテハ元金ニ對シ日割計算ニ依リ年利七厘ノ割合ヲ以テ算出シタル額

(二) 元金償還開始後ニ在リテハ年利四分二厘ト年利三分五厘トノ半年賦元利均等償還定率ノ差ヲ元金ニ乘シ算出シタル額

三、助成金ハ每年左ノ各期ニ屬スルモノヲ每期末日迄ニ之ヲ交付スルモノトス、但シ昭和六年九月一日迄ノ分ニ付テハ昭和六年十月三十一日迄ニ之ヲ交付スルモノトス

上期 自三月二日 至九月一日

下期 自九月二日 至三月一日

四、助成金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣昭和六年下期以降ノ分ニ屬スル助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ借入金現狀調書ヲ添附シ每年上期分ニ在リテハ四月三十日迄ニ、下期分ニ在リテハ十月三十一日迄ニ當該期分ノ助成金交付請求書ヲ五大事業每ニ提出スヘシ

五、助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ資金ヲ借受ケタル事業主體ニ對シ左ノ標準ニ依リ計算シタル金額ヲ補給金トシテ交付スヘシ

(一) 元金償還据置期間中ニ在リテハ貸付元金ニ對シ日割計算ニ依リ年利七厘ノ割合ヲ以テ算出シタル額

(二) 元金償還開始後ニ在リテハ年利四分二厘ト年利三分五厘トノ半年賦元利均等償還定率ノ差ヲ貸付元金ニ乘シ算出シタル額

六、助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ每年六月三十日迄ニ收支計算書ヲ五大事業每ニ農林大臣ニ提出スヘシ

第六　農用機械ノ利用奬勵

農用機械ノ利用ヲ將勵スル爲左ノ事項ヲ行フ

一　開墾地用機械ノ貸與

大正八年度以來牽曳機、整地用農具、耕作用農具、土工用農具、運搬用農具、拔根機、地層探査用具及水路工事用具等ヲ地方廳又ハ當業者ニ貸與シ必要ニ應シ指導者及操縱者ヲ派遣シ所要消耗品等ヲ國庫ヨリ補助シツツアリ現在機械ノ種類及臺數ヲ示セハ左ノ如シ

(イ) 大型牽曳機　三十九臺
- ベスト型七五馬力(一臺)
- ベスト型二五馬力(一臺)
- フオードソン型二二馬力(五臺)
- ベスト型六〇馬力(一臺)
- ベスト型三〇馬力(九臺)
- キヤタピラ型三〇馬力(三臺)
- キヤタピラ型二五馬力(十四臺)
- ビーン型一〇馬力(五臺)

(ロ) 小型牽曳機　二十一臺　ビーマン型四馬力(三臺)　スプライホキール型一馬力半(十八臺)

(ハ) 整地用農具　百八臺　犁(五十二臺)　耙耬(三十七臺)　中耕機(十八臺)

(ニ) 耕作用農具　四臺　肥料撒布機(一臺)　播種機(三臺)

(ホ) 土工用農具　三十三臺　均平機(二十五臺)　作溝機(八臺)　鎭土機(一臺)

(ヘ) 運搬用農具　百九十八臺　四輪車(十八臺)　孤輪車(百八十臺)
(ト) 抜根機　六十一臺　K型馬力用(八臺)　K型人力用(三十臺)　カースチン第八號型(十九臺)　カースチン第十五號型(一臺)　エキストラクトル型(一臺)　カースチン第十一號型(一臺)　ヘリキュール型(一臺)
(チ) 地層用探査用具　一臺　探層用穿孔機(一臺)
(リ) 水路工事用具　三臺　鑿岩機(一臺)　膠灰噴射機(一臺)　膠灰注入機(一臺)

二　農用機械管理所

昭和元年度ノ事業トシテ埼玉縣北足立郡横曾根村(東北本線川口町驛ノ西方約十町)ニ農用機械管理所ヲ建設シ昭和二年四月ヨリ農用機械ノ修理、格納、陳列等ノ事業ヲ開始セリ

三　開墾地用機械購入費補助

本制度ハ大正十年度ヨリ實施シタルモノニシテ開墾地經營ニ當リ抜根機、牽曳機、整地用農具、耕作用農具、土工用農具、運搬用農具、地層探査用具、水路工事用具等ヲ使用シ事業ノ遂行ヲ容易ナラシムル爲右ノ機械ヲ購入スル場合ハ左ノ通國庫補助金ヲ交付スルモノトス(大正十年九月二十六日附食第一四六五號食糧局長依命通牒)

イ　補助金ノ交付額ハ直接地方廳ニ於テ農用機械ヲ購入スル場合ハ其ノ豫算ノ半額以内

ロ　地方廳カ農用機械購入ヲ爲ス當業者ニ對シ奬勵金ヲ交付スル場合ハ其ノ奬勵金ノ半額以内

本制度ハ北海道ニ施行セス

四　機械使用法ノ講習

牽曳機、附帶農具、抜根機等ノ使用ヲ普及セシムル爲大正九年度ヨリ相當團體ニ委託シ又ハ直營ニ依リ其ノ使用上必須ナル科目ヲ講習セシムルコトアリ

第七　揚水機、地質、地下水等ノ特種技術指導

耕地擴張改良事業奬勵ノ爲技術員ヲ置キテ實地ニ付揚水機、地質、地下水、簡易上水道(農村用水)、天水利用等ニ關スル調査研究、指導、講話ヲ擔當セシム

第八　耕地擴張改良ニ關スル諸般ノ研究調査

耕地擴張改良ニ關スル諸般ノ研究調査中其ノ主ナルモノヲ示セハ耕地擴張及改良見込地調査、人口食糧問題ニ關スル調査、開墾地經營ニ關スル調査、耕地整理事業ニ關スル經濟調査、暗渠排水ニ關スル調査、災害耕地ニ關スル調査、農業水利ニ關スル調査、爆藥開墾ニ關スル調査等ナリ

農林省ハ殆ト毎年地方耕地主任官ヲ招集シテ會議ヲ開催シ斯業ニ關スル緊要ナル事項ニ付研究協議ヲ遂ケツツアリ

尚耕地擴張改良事業奬勵ノ爲必要ニ應シ映畫フイルムヲ作成、購入シ申請ニ依リ之ヲ貸與シツツアリ現在ニ於ケル映畫フイルムノ種類左ノ如シ

林野開墾	三	卷
海面干拓「海を田に」	三	組
大耕地に活躍するトラクターの狀況	六	卷
萩野開墾地	一	組
第七揚水機地質地下水等ノ特殊技術指導	三	卷
第八耕地擴張改良ニ關スル諸般ノ研究調査	二	組

用排水幹線改良「工事機械掘鑿作業の卷」　一　卷
農業水利改良事業「溜池築造作業の卷」　一　卷
建　設　者　五　卷
トラクターに依る開田地地盤鎮壓作業　一　卷

第九　土地利用計畫

本計畫ハ大正七年度ヨリ著手セル事業ニシテ耕地擴張見込地中主トシテ百町歩以上ノモノニ付開發ニ關スル計畫ノ綱要ヲ立案シ計畫書ヲ作成シ地方廳及當業者ニ示シ以テ實行ヲ奬勵スルモノトス

右ノ目的ヲ達スル爲技師一人、技手二人ヲ以テ一班トシ現在ニ於テハ全國ニ亘リ八班ヲ組織シ之カ調査ヲ遂行シツツアリ

第十　開墾助成法

本法ハ大正八年四月五日法律第四十二號ヲ以テ公布シ同年六月一日ヨリ實施セラレタリ

同法ノ趣旨ハ開墾ノ當初未タ十分ノ收益ヲ擧クルコト能ハサル相當期間ニ於ケル投入資本ニ對スル利息ヲ補給スルノ精神ニ基キ年々一定ノ標準ニ依ル助成金ヲ事業者ニ交付スルモノナリシモ昭和四年一部改正行ハレ事業費元金ノ一部補給ノ趣旨ニ改メラレタリ

左ニ助成金ノ交付ヲ受クヘキ事業、主體、期間、助成金額等ニ付大要ヲ示サン

一　助成金ノ交付ヲ受クヘキ事業

助成金ノ交付ヲ受クヘキ事業ハ施行面積五町歩以上ニシテ土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル左ノ事業ナリ

(イ)　開墾、湖海ノ埋立若ハ干拓又ハ地目變換ニ依ル開田
(ロ)　前號ニ揭クル事業ニ伴フ灌漑排水ニ關スル施設又ハ道路、堤塘ノ新設若ハ變更

二　助成金ノ交付ヲ受クヘキ者

前揭事業ヲ行フ者ナレハ耕地整理法ニ依ルモノト普通開墾ニ依ル數人共同、公共團體、耕地整理組合、會社其ノ他法人ニテモ可ナリ

三　助成金額

助成金額ハ事業ノ爲支出シタル費用ノ十分ノ四トス但シ事業ノ爲ニ支出シタル金額中ニハ素地ノ買入代金及借入金ノ利子ヲ含マス

四　前項ノ助成金ハ毎年度ノ決算書ニ基キ毎年之ヲ交付セラルルモノトス

右開墾助成法ハ北海道ニハ之カ適用ヲ除外セリ

附　記　昭和四年助成法改正前ニ於テ助成指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍改正前ノ例ニ依ル助成金卽チ投入資本ニ對スル利息補給ノ趣旨ニ基ク助成金ハ工事開始ノ年ヨリ工事終了四年ニ至ル期間內ニ於テ毎年之ヲ交付セラルルモノニシテ其ノ助成金ハ總額ノ百分ノ六トス（助成法改正前ニ於テ助成指令ヲ受ケタル者モ改正法施行後ニ施行スル事業ニ對シテハ改正法ニ依ル助成金ニ乘換ヲ爲スコトヲ認メラル但シ昭和四年十二月三十一日迄ニ其ノ旨農林大臣ニ申請シ認可ヲ受ケサルヘカラス）

第十一　開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營

大規模開墾ニ適スル集團地ハ府縣又ハ耕地整理組合等ヲシテ容易ニ之ヲ開發スルコト困難ナルヲ以テ五百町歩以上ノ開墾適地ノ爲ニスル用排水主要工事國營

ニ對シ其ノ用排水主要工事ヲ國營ニテ施行スル爲昭和五年度ヨリ九箇年ニ亘ル繼續費トシテ七十七萬三千餘圓ノ豫算ヲ以テ右大規模開墾ニ必要ナル用排水主要工事ノ國營ヲ行フコトトセリ

第十二　大規模開墾計畫

本計畫ハ昭和二年度ヨリ創設セル事業ニシテ主トシテ五百町歩以上ノ集團的開墾見込地ニ付實施設計ヲ行ヒ開墾計畫ヲ樹ツルモノニシテ其ノ結果例ヘハ主要工事ノ國營等特別ノ方法ヲ以テ開發ヲ實行セントスルモノナリ

第十三　開墾地移住奬勵

一　開墾地移住奬勵金交付

本制度ハ大正九年度ヨリ實施シタルモノニシテ其ノ趣旨トスル處ハ開墾地ニ移住民ヲ招致シテ開墾事業ノ經營ヲ容易ナラシムルト共ニ優良ナル新農村ノ創成ヲ助ケ以テ事業ノ效果ヲ永遠ニ收メントスルニアリ今其ノ要項ヲ示セハ左ノ如シ（大正九年九月十七日附農第一二二八〇號農務局長依命通牒〔大正十年十一月二十五日附食第二三八三號大正十五年五月六日附農第五五四三號昭和三年七月四日附農第八五七一號昭和四年六月二十四日附農第八二九〇號通牒改正〕）

（イ）農林省ノ補助金

農林省ノ補助金ハ地方廳ト協力シテ移住奬勵ヲ實行スル府縣ニ對シテ交付スルモノニシテ其ノ金額ハ左記ノ標準ニヨリ府縣ノ負擔アルモノヨリ先ニ交付ス

一　家屋ニ在リテハ一戸當三百圓

二　共同建造物ニ在リテハ建築費ノ三割

前項ニ依ル府縣ノ負擔額ハ家屋ニ在リテハ一戸當百圓以上共同建造物ニ在リテハ建築費ノ一割以上トスルコト

（ロ）府縣ノ奬勵金

農林省ノ補助金ノ交付ヲ受ケタル府縣ハ其ノ受ケタル補助金ニ府縣費ヲ加ヘ之ヲ府縣ノ奬勵金トシテ家屋及共同建造物建築者ニ交付スルモノトス

（ハ）奬勵金ノ交付ヲ受ケ得ヘキ者

開墾助成法ニ依リ事業ヲ施行スル地區ニ於テ移住ノ爲必要ナル家屋及共同建造物ヲ建築スルモノトス

（ニ）府縣開墾地移住奬勵金交付資格及交付額

府縣	奬勵金交付資格				交付額		
	建築費		坪				
	家屋	共同建造物	家屋	共同建造物	家屋	共同建造物	
青森	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
岩手	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
宮城	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
秋田	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
山形	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
福島	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
茨城	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
栃木	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
群馬	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
埼玉	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
千葉	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
東京	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
神奈川	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
新潟	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
富山	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
石川	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
山梨	一千圓以上	—	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	
長野	一千圓以上	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	

一一　開墾地移住紹介

本手續ハ大正十年六月ヨリ實施シ移住者ヲ要スル開墾地及開墾地ヘノ移住希望者ヲ相互ニ廣ク紹介スルニアリ紹介ヲ受ケントスル者ハ府縣ニ申込ミ府縣ハ之ヲ農林省ニ報告シ農林省ハ之ヲ全國ニ周知セシメ以テ開墾地ノ移住ヲ容易ナラシメントス（大正十年六月二十四日附食第六三一五食糧局長依命通牒）

府縣	奬勵金交付資格 建築費 家屋 共同建造物	奬勵金交付資格 建坪 家屋	奬勵金交付資格 建坪 共同建造物	交付額 家屋	交付額 共同建造物	府縣	奬勵金交付資格 建築費 家屋 共同建造物	奬勵金交付資格 建坪 家屋	奬勵金交付資格 建坪 共同建造物	交付額 家屋	交付額 共同建造物
岐阜	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	—	山口	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	—
靜岡	一千圓以上	二十坪以上	二十坪以上	四百圓以内	六分ノ四以内	（調査中）					
愛知	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	愛媛	一千圓以上	二十坪以上	二十坪以上	四百圓以内	四割以内
三重	一千圓以上	二十坪以上	—	五百圓以内	五割以内	高知	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内
京都	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	（調査中）					
大阪	（調査中）					福岡	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	—
兵庫	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	佐賀	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	五割以内
奈良	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	長崎	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内
鳥取	一千圓以上	二十坪以上	—	四百五十圓以内	四割五分以内	熊本	一千圓以上	二十坪以上	—	四百五十圓以内	五割以内
島根	一千圓以上	二十坪以上	二十坪以上	四百圓以内	四割以内	大分	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内
岡山	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	宮崎	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内
廣島	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内	鹿兒島	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内
						沖縄	一千圓以上	二十坪以上	—	四百圓以内	四割以内

本手續ハ北海道ニハ施行セス

三　開墾地移住者ニ對スル汽車電車汽船ノ特別取扱

大正十一年二月ヨリ開墾地移住者ニ對スル汽車電車汽船ノ特別取扱方ヲ實施シ本土、四國、九州及沖繩ニ於ケル農業ヲ目的トスル開墾地ニ移住スル者ニ對シ移住費ヲ輕減セントス而シテ此ノ特別取扱ヲ受ケントスル者ハ北海道廳、府縣廳、同支廳又ハ市區町村役場ニ申出テ鐵道省ノ發行スル割引證ノ交付ヲ受クルモノトス（大正一一年二月二四日農商務省告示第五一號同一一年二月二六日同第三八二號改正同一三年二月一五日同第二四七號改正同一四年三月一七日同第五二號改正）

第十四　開墾地利用ニ關スル試驗及奬勵

大正九年度ヨリ元農商務省農事試驗場陸羽支場ニ、大正十年度ヨリ元同九州支場ニ委託シテ開墾地ニ適スル農作物主トシテ陸稻ノ品種改良及栽培ニ關スル試驗ヲ行ハシメタリ大正十三年十二月二十日兩支場廢止セラレ前者ハ本省農事試驗場奥羽試驗地ニ、後者ハ熊本縣立農事試驗場ニ此ノ試驗ヲ繼承セリ

試驗地

一　農林省農事試驗場奥羽試驗地（秋田縣仙北郡花館村）ノ試驗地秋田縣仙北郡刈和野町

一　熊本縣立農事試驗場（熊本市）ノ試驗地熊本縣菊地郡合志村大字豐岡

試驗事項

一　陸稻ノ品種改良（品種試驗、純系分離及雜種試驗ニ依リ開墾地ニ適スル品種ヲ選出スルコト）

一　陸稻ノ栽培（雨量、土質等ニ適應スル耕耘施肥ノ方法ヲ試驗シテ開墾地ニ於ケル栽培法ヲ案出スルコト）

一　陸稻ノ種子配布（以上試驗ニ依リ良好ナル成績ヲ得タル品種ハ各地方ノ開墾地ニ配布スルコト）

一　甘藷、馬鈴薯其ノ他農作物ノ品種改良及栽培（陸稻ニ於ケルト同様ノ試驗ヲ行ヒテ開墾地ニ適スル品種ノ選出及其ノ栽培法ヲ案出スルコト）

此ノ試驗ノ結果成績良好ト認メタルモノハ之ヲ府縣ノ開墾地ニ配布シテ試作セシメツツアリ

大正十三年度ヨリハ開墾畑地ニ甘藷ノ栽培ヲ奬勵スル爲藷苗ノ供給斡旋ヲ爲シ其ノ成績頗ル良好ナリシヲ以テ爾來大ニ之カ栽培ヲ奬勵シツツアリ

第十五　開墾ニ關スル其ノ他ノ奬勵制度

開墾助成法以外ニ開墾奬勵制度トシテ法規ノ數フヘキモノハ耕地整理法、地租法、耕地整理及土地改良奬勵費規則等アリ又各地方ニモ相當施設アリ左ニ參考ノ爲耕地擴張事業ニ對スル地租減免年期ヲ示セハ左ノ如シ

種別		減免租年期	延長年期
開墾	地租法ニ依ルモノ（普通ノモノ）	二十年	十年內
	耕地整理法ニ依ルモノ（二十年以內ニ成功シ能ハサル地目變換ハ開墾ト看做ス）（普通ノモノ）	同（同）	四十年
	耕地整理法ニ依ルモノ（四十年ヲ經過スルモ地味成熟スルニ至ラスト認ムルモノ）	同（工事著手ノ年ノ翌年ヨリ）	四十年
地目變換	地租法ニ依ルモノ（二十年內ニ成功シ能ハサルモノ）	同（同）	四十年以上五十年以內
	耕地整理法ニ依ルモノ（普通ノモノ）	同（著手ノ年及其ノ翌年ヨリ）	四十年
	耕地整理法ニ依ルモノ（二十年以內ニ成功シ能ハサルモノ）	同（工事完了ノ年及其ノ翌年ヨリ）	六年
		開墾ト看做ス（四十年開墾ノ項參照）	

國有地ノ開拓		減租（有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ）	二十年	十年內
	地租法ニ依ルモノ	免租（同）	二十年	十年以內
	耕地整理法ニ依ルモノ	免租（同）	六十年	十年以內
國有公有水面ノ埋立（干拓ヲ含ム）				

耕地整理法ニ依ルモノハ一般ニハ工事着手ノ年ノ翌年ヨリ起算シ七十年ノ減租年期ヲ有シ地區內有租地ノ總地積ノ五分ノ一ヲ超エサル開墾、地目變換ノ場合ハ全然賃貸價格ノ修正ヲ行ハス五分ノ一ヲ超ユル分ニ付テノミ賃貸價格ヲ修正ス

第十六　農業水利改良計畫

本邦ニ於ケル農業水利狀況ヲ見ルニ田ノ灌漑水不足セルモノ五十七萬八千町歩平時排水不良ナルモノ五十六萬九千町歩洪水ノ場合ニ於テ一時的浸水ノ被害アルモノ五十一萬四千町歩アリ之等ハ耕地整理事業トシテ漸次改良セラレツツアリト雖此ノ內五百町歩以上ノ集團地ニ付テハ大正九年度ヨリ本省ニ於テ農業水利改良計畫ニ依リ事業ノ方法、損益等ニ關スル計畫ノ綱要ヲ立案シ事業ノ實施ヲ奬勵シツツアリ之カ爲ニ專任職員ヲ設置シテ各地ニ派遣シ實地ニ付調査計畫ヲ行ハシメ成案ヲ得ルニ從ヒテ之ヲ當該地方ニ交付スルモノトス（大正九年九月二〇日附農第一二四四五農務局長依命通牒）

本計畫ハ北海道ニハ施行セス

第十七　用排水幹線改良事業

耕地ノ用水又ハ排水ノ改良ニ依リテ利益ヲ受クヘキ面積五百町歩以上ヲ支配スル用排水幹線又ハ用排水設備ノ改良事業ヲ府縣營トシテ行フモノニ對シテハ大正十二年度ヨリ用排水改良事業補助要項ニ依リ其ノ事業ノ爲支出シタル金額ノ二分ノ一ノ國庫

補助金ヲ交付スルモノトス（大正一二年四月一七日附食第一四〇七號食糧局長依命通牒 大正一四年一二月二二日附農第一九四二二號通牒改正）

右ノ外大震災ニ因リ損害ヲ被リタル用排水幹線ノ復舊ヲ要スルモノニシテ五百町歩以上ノ耕地ヲ支配シ府縣營事業トシテ之ヲ行フモノニ對シテハ大正十三年度以降十箇年ニ亘リ三百四十七萬二千餘圓ノ補助金（補助率六割乃至八割）ヲ交付スルコトトセリ

昭和七年三月二十六日印刷
昭和七年三月三十一日發行

農林省農務局

印刷者　佐々木恒太郎
東京市京橋區京橋二丁目十三番地

印刷所　東亞印刷株式會社
東京市京橋區京橋二丁目十三番地
電話京橋(56)〔二二四〕〔二二五〕番

林官房次長

辭職

昭和十年三月二十一日發行
昭和十年三月二十六日印刷

東京市麹町區飯田町四丁目二番地
發行者　小木田太郎

東京市麹町區飯田町四丁目二番地
印刷所　株式會社秀英舍

昭和十年三月二十一日發行
昭和十年三月二十六日印刷

東京市麹町區飯田町四丁目二番地
發行者　小木田太郎

東京市麹町區飯田町四丁目二番地
印刷所　株式會社秀英舍

（非賣品）